ネットワークスキャニングボックス

ESNSB2　取扱説明書

EPSON

network scanner

ー本書は、製品の近くに置いてご活用くださいー

4020046-02
EK2

内容物の確認

このたびはESNSB2をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
梱包を開けたら、付属品がすべてそろっていることと、ESNSB2本体、および付属品に損傷がないことを確認してください。
万一、不足や不良がございましたら、お買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
(4) 運用した結果の影響については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
(6) エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理等は有償で行います。

安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくために、製品をお使いになる前には、必ず本書をお読みください。また、本書は製品の不明点をいつでも解決できるように、手元に置いてお使いください。

本書では、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作・お取り扱いについて、次の記号で警告表示を行っています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

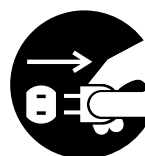
また、お守りいただく内容の種類を次の絵記号で区分し、説明しています。
内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

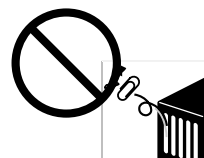
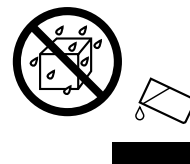
	この記号は、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
	この記号は、分解禁止を示しています。
	この記号は、濡れた手で製品に触れることの禁止を示しています。
	この記号は、製品が水に濡れることの禁止を示しています。
	この記号は、電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。

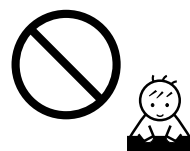
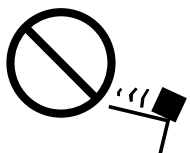
もくじは8ページにあります

安全上のご注意（ESNSB2/AC アダプタ共通）

⚠警告

- **煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。**
  感電・火災の原因となります。
  すぐに電源コードをコンセントから抜いて、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。
  お客様による修理は危険ですから絶対しないでください。

- **（取扱説明書で指示されている以外の）分解や改造はしないでください。**
  けがや感電・火災の原因となります。

- **通風孔など開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。**
  感電・火災の原因となります。

- **異物や水などの液体が内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。**
  感電・火災の原因となります。
  すぐに電源コードをコンセントから抜き、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。

⚠注意

- **小さなお子さまの手の届く所には、設置、保管しないでください。**
  落ちたり、倒れたりして、けがをするおそれがあります。

- **不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。**
  落ちたり、倒れたりして、けがをするおそれがあります。

⚠注意

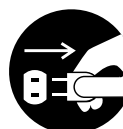
- **湿気やほこりの多い場所に置かないでください。**
  感電・火災のおそれがあります。

- **本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。**
  特に、小さなお子さまのいる家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがをするおそれがあります。

- **本製品の通風孔をふさがないでください。**
  通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災のおそれがあります。
  次のような場所には設置しないでください。
  ・押し入れや本箱など風通しの悪い狭いところ
  ・じゅうたんや布団の上
  ・毛布やテーブルクロスのような布をかけない
  また、壁際に設置する場合は、壁から10cm以上のすき間をあけてください。

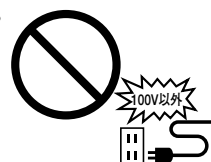
- **連休や旅行などで長期間ご使用にならない時は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。**

- **各種コード（ケーブル）は、取扱説明書で指示されている以外の配線をしないでください。**
  配線を誤ると、火災のおそれがあります。

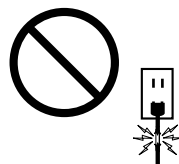
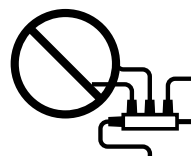
- **本製品を移動する場合は、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。**

- **他の機械の振動が伝わる所など、振動しがちな場所には置かないでください。**
  落ちたり、倒れたりして、けがをするおそれがあります。

安全上のご注意（AC アダプタ）

⚠警告

- **表示されている電源（AC100ボルト）以外は使用しないでください。**
  指定外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。

- **濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。**
  感電の原因となります。

- **破損した電源コードを使用しないでください。感電・火災の原因となります。**
  電源コードを取り扱う際は、次の点を守ってください。
  - ・電源コードを加工しない
  - ・電源コードの上に重いものを乗せない
  - ・無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
  - ・熱器具の近くに配線しない

  電源コードが破損したら、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。

- **電源コードのたこ足配線はしないでください。**
  発熱し火災の原因となります。
  家庭用電源コンセント（AC100ボルト）から電源を直接取ってください。

- **電源プラグの取り扱いには注意してください。**
  取り扱いを誤ると火災の原因となります。
  電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。

  - ・電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない
  - ・電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む

⚠注意

- 本製品は、指定された機器以外の製品、あるいは他の用途には使用しないでください。
  指定製品以外に接続して使用した場合、接続した製品が発煙や発火など危険な状態になる可能性がありますので、ご注意ください。
- AC アダプタを布団などで覆った状態で使用しないでください。
- 雷が鳴っている時は、すみやかに電源コードをコンセントから抜いてください。
- ご使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電圧変動や電気的なノイズを発生する機器（大型モーターを使っている機器）などから離れたコンセントをご使用ください。
- ACアダプタには電源スイッチがありません。万一接続機器側で異常が発生した場合は、すぐに電源コードを抜いて、お買い求めの販売店、またはエプソンの修理窓口にご連絡ください。
- 電源コードは、コネクタ部を持って取り外してください。
- 電源コードが伸びきった状態では使用しないでください。
- 電源コードで AC アダプタを吊り下げないでください。
- 電源コードやACアダプタのコネクタに、クリップなどの金属性のものを接触させないでください。
- テーブルタップや延長コードは使用しないでください。
- 本製品が汚れた時は、乾燥した布または水をつけて固くしぼった布でふき取ってください。この際、電源コードをコンセントから取り外してください。
- シンナー、ベンジン、またはアルコールなどでクリーニングしないでください。

もくじ

ESNSB2の機能と仕組み

ESNSB2のセットアップ

ネットワークスキャンの仕方

サーバスキャン設定の前に（Windows）

サーバスキャン設定の前に（NetWare）

サーバスキャンの設定

サーバスキャンの仕方

困ったときは

付録

各部の名称とはたらき

Ready ランプ
本機およびスキャナが取り込み動作可能な時に点灯します。
Network ランプ
ネットワーク経由でデータをやり取りする時に点滅します。
SCSI コネクタ
付属の SCSI ケーブルでスキャナと接続します。
Error ランプ
エラー発生時に点滅します。
EPSON
Ready
Network
Error
DC-IN
SCSI
Network
インレット
付属の AC アダプタを接続します。
RESET スイッチ
ESNSB2 の設定を工場出荷時の状態に戻すためのスイッチです。
モジュラージャック
Ethernet ケーブルを接続します。

本文中のマークと表記について

マークが付いている文章は次のように重要な内容を記載しています。
必ずお読みください。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、機器本体が損傷する可能性が想定される内容を示しています。

お取り扱い上、必ずお守りいただきたいこと(操作)を記載しています。必ずお読みください。

商標等の表記

Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版
Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版
Microsoft® WindowsNT® operating system Version4.0 日本語版
Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版
Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版
Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版
Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版
の表記について

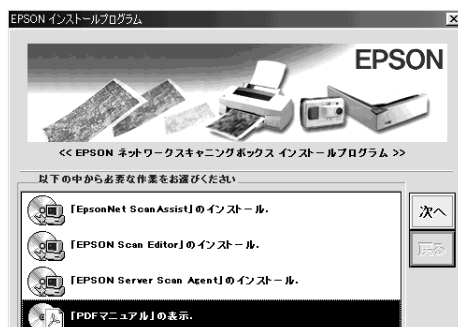
本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows95、Windows98、WindowsNT4.0、Windows2000、Windows Me、Windows XP と表記しています。
また、Windows95、Windows98、WindowsNT4.0、Windows2000、Windows Me、Windows XP を総称する場合は［Windows］、複数の Windows を併記する場合は［Windows95/NT］のように、Windows の表記を省略することがあります。

Novell は米国ノベル社の登録商標です。
NetWare、IntranetWare は米国ノベル社の米国での登録商標です。
PC-9801/9821 シリーズおよび PC98-NX シリーズは日本電気株式会社の商標です。
IBM PC、DOS/V、IBM は International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。
Apple の名称、ロゴ、Macintosh、PowerMacintosh、Mac、iMac、Power Book、漢字 Talk、AppleTalk、LocalTalk、EtherTalk、ColorSync、Open Transport および TrueType は Apple Computer,Inc. の商標または登録商標です。
Microsoft、Windows、WindowsNT および Internet Explorer は米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
Intel, Pentium は Intel Corporation の登録商標です。
そのほかの製品名は各社の商標または登録商標です。
"This product Includes software developed by the University of California, Berkeley, and Its contributors."

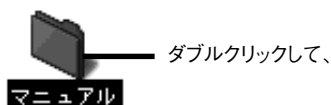
PDF 版取扱説明書のご案内

付属のソフトウェアCD-ROMに、本書のPDF（Portable Document Format）版が収録されています。

PDF の開き方（Windows）

本製品に付属のソフトウェア CD-ROM を、コンピュータにセットします。
次の画面が自動的に表示されますので、[PDF マニュアルの表示] をダブルクリックしてください（次の画面が自動的に表示されない場合は、[マイコンピュータ] 内の CD-ROM アイコンをダブルクリックしてください）。

次に表示される画面で［表示］ボタンをクリックすると、PDF マニュアルが表示されます。
この時、コンピュータに Acrobat Reader がインストールされていない場合は、Acrobat Reader のインストーラが起動しますので、画面の指示に従ってインストールしてください。

PDF の開き方（Macintosh）

本製品に付属のソフトウェア CD-ROM を、Macintosh にセットします。
CD-ROM 内の［マニュアル］フォルダをダブルクリックして開き、［ESNSB2 取扱説明書］アイコンをダブルクリックします。

Macintosh に Acrobat Reader がインストールされていない場合は、[Acrobat Reader] フォルダをダブルクリックして開き、Acrobat Reader をインストールしてください。

ESNSB2の機能と仕組み

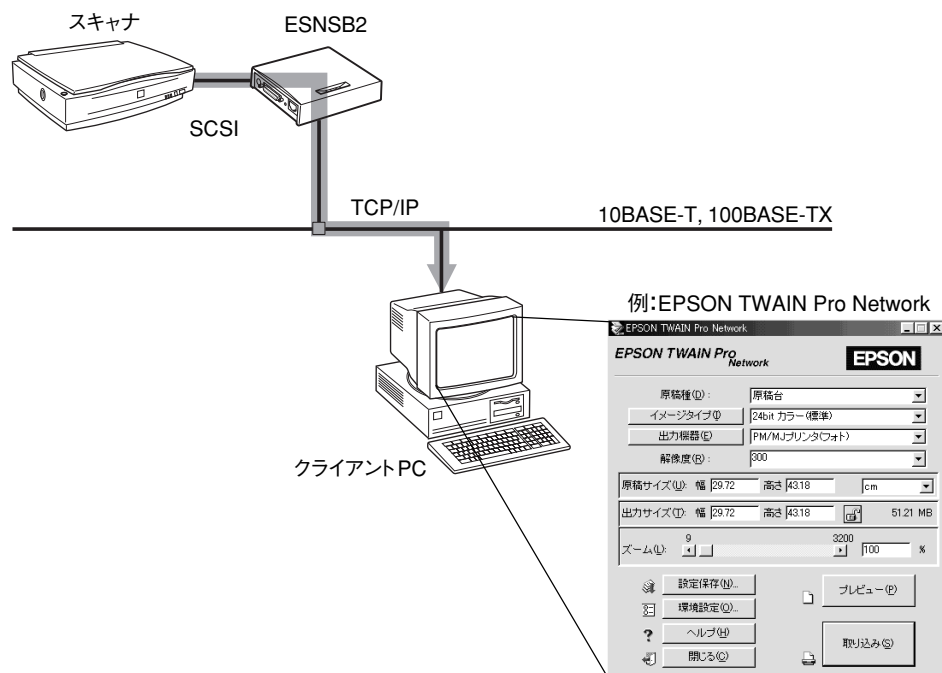
ここでは、ESNSB2の機能と、その仕組みや動作環境について説明しています。

ネットワークスキャン機能

ネットワークスキャンの仕組みと動作環境について説明します。仕組みをご理解いただいた上で、準備作業に進んでください。

ネットワークスキャンの仕組み

ESNSB2を、スキャナおよびネットワークに接続します。
スキャナを利用したいPCには次のソフトウェアをインストールし、これらを使用して画像を取り込みます。

- スキャナに付属している［EPSON TWAIN Pro Network］または［EPSON TWAIN HS Network］
- スキャナに付属している［EPSON Scan to File］または市販の［TWAIN対応アプリケーション］

既にネットワーク環境を構築済みの場合は、前記のソフトウェアをインストールするだけでご利用いただけます。またネットワーク環境が未構築の場合でも、サーバ専用機の導入などの複雑な作業は必要ありませんので、比較的簡単に導入いただけます（ただしTCP/IPの設定などが必要になります。詳細は44ページをご覧ください）。

- スキャナを利用するPCの表記について
  本書では、クライアントPCと表記します。
- EPSON TWAIN Pro NetworkとEPSON TWAIN HS Networkの表記について
  本書では、EPSON TWAIN Pro NetworkとEPSON TWAIN HS Networkを総称する場合、EPSON TWAIN xx Networkと表記します。
  また、EPSON TWAIN Pro Networkと明記している場合は、EPSON TWAIN Pro Networkに限定した説明です。

ネットワークスキャンの動作環境

対応スキャナ

EPSON ES シリーズのスキャナ

ネットワーク環境

ネットワーク環境の説明については、ネットワーク管理者の方がお読みください。

- ESNSB2 とクライアント PC（EPSON TWAIN xx Network）は TCP/IP プロトコルで通信するため、両方に IP アドレスが必要です。
  （ESNSB2 は、RARP・BOOTP・DHCP に対応しています。ただし、これらのプロトコルを使用すると IP アドレスが自動的に割り当てられるため、クライアント PC で EPSON TWAIN xx Network を使用する際、ESNSB2 に割り当てられた IP アドレスをその都度指定し直す必要があります。IP アドレスが頻繁に変わると不便ですので、ESNSB2 は IP アドレスを自動取得せず、個別に設定することをお勧めします）
- ESNSB2 は 10BASE-T ／ 100BASE-TX 自動切替ですので、どちらの形態でも接続可能です。しかしネットワークが高速であるほど画像取り込みが高速になるため、100BASE-TX の高速ネットワークおよび、ネットワーク負荷の軽い環境での使用をお勧めします。
  なお、100BASE-TX 専用 HUB を使用する場合は、接続されるすべての機器が 100BASE-TX 対応であることを確認してください。
- 高解像度の画像データを取り込むと、膨大な量のデータがネットワーク上を流れます（22 ページ参照）。必要に応じて、スキャナを共有する PC のセグメントを他のセグメントと分けるなど、スキャナの使用頻度やデータ容量に合わせたネットワーク環境にしておいてください。
- ESNSB2（スキャナ）とクライアント PC は、同一セグメント内での使用をお勧めします。（セグメントを越えて利用することもできますが、ネットワーク環境やデータ容量によってはネットワークの負荷が増加し、不具合が起こる可能性があります）

EPSON TWAIN xx Network

EPSON TWAIN xx Network は、スキャナに付属しているものをお使いください。スキャナによって、EPSON TWAIN Pro Network が付属しているものと、EPSON TWAIN HS Network が付属しているものがあります。

EPSON TWAIN Pro Network の対応レビジョン：Rev.1.7a 以降

スキャナに付属のCD-ROMに、収録されているEPSON TWAIN Pro Networkのレビジョンが次のように記載されています。X.XX の部分がレビジョンを示します。

EPSON TWAIN Pro Network
Rev.X.XX（Win）
Rev.X.XX（Mac）

1.7a より前のレビジョンが付属している場合は、113 ページを参照して EPSON TWAIN Pro Network の最新版を入手してください。

EPSON TWAIN HS Network の対応レビジョン

レビジョンの制限はありません。

EPSON TWAIN xx Network の動作環境については、スキャナに付属のネットワークガイド［動作環境］をご覧ください。レビジョンによって対応 OS が異なりますのでご注意ください。

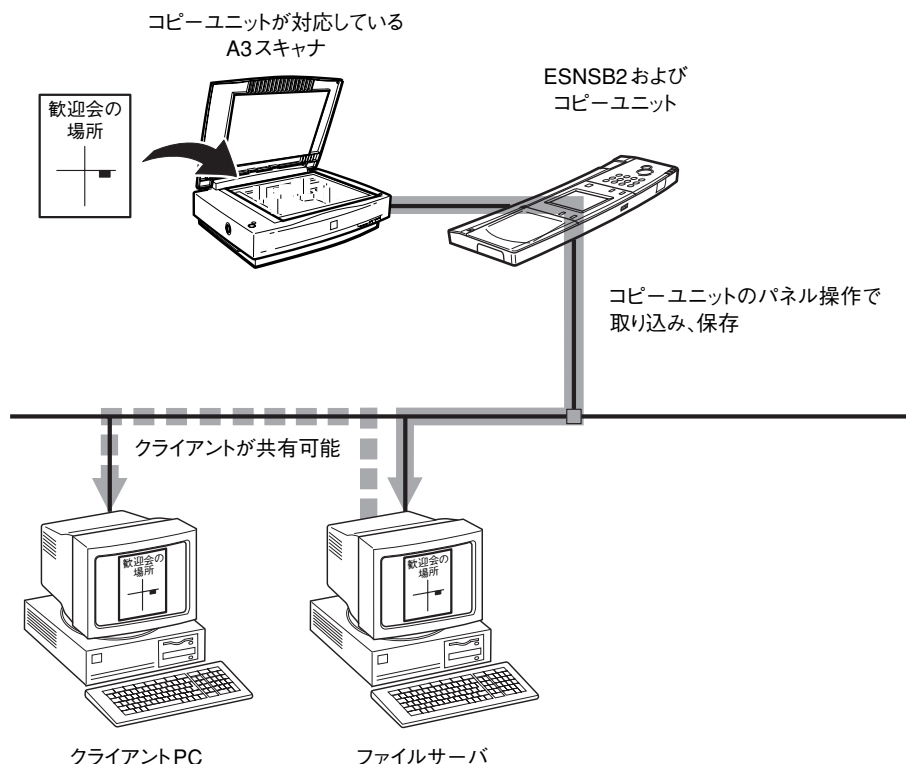
サーバスキャン機能（コピーユニット接続時）

サーバスキャンの仕組みと動作環境について説明します。仕組みをご理解いただいた上で、準備作業に進んでください。

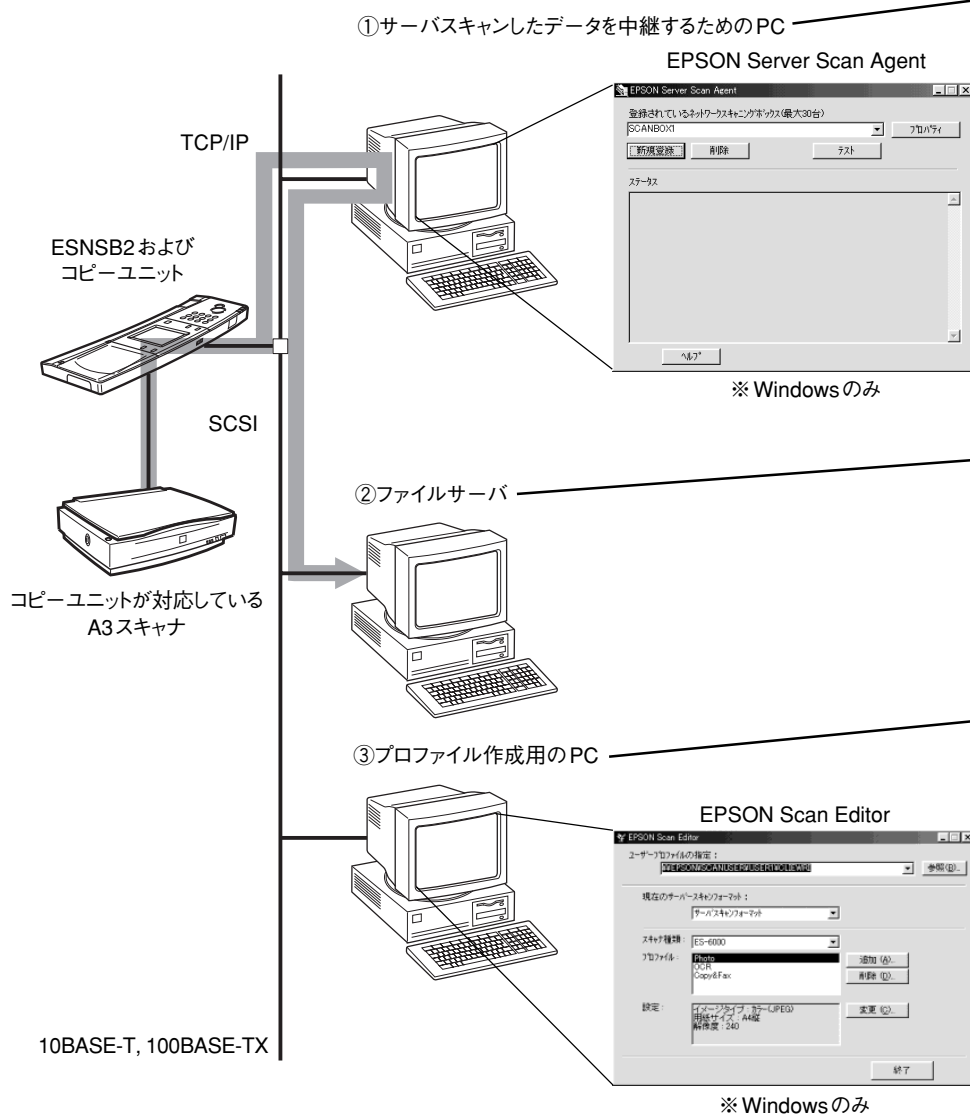
サーバスキャンの概要

サーバスキャン機能は、ESNSB2をコピーユニットおよび、コピーユニットが対応しているA3スキャナに接続してお使いの場合のみ、利用できる機能です。ESNSB2とスキャナだけでは利用できません。
コピーユニットのパネル操作によって画像を取り込み、ファイルサーバに保存する機能です。EPSON TWAIN xx Networkを使用しないため、

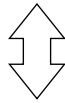
- 原稿を簡単な操作でデータ化し、自動的に保存できます。またネットワーク上での共有が可能です。特に文書を電子ファイル化する作業に向いています。
- プロファイル（取り込み設定ファイル）を前もって作成しておく必要があります。
- 画質は自動調整機能に依存します。また、透過原稿ユニットは使用できません。写真の取り込みで狙い通りの画質を得たい場合や、透過原稿ユニットを使用してフィルムを取り込みたい場合は、EPSON TWAIN xx Networkを使用して取り込んでください（フィルムの取り込みは、EPSON TWAIN Pro Networkのみ可能です）。

詳しい仕組みや動作環境については、次ページ以降で説明しています。

サーバスキャンを行うためのネットワーク構成

サーバスキャンを行うには、次の機器をESNSB2（スキャナ）と同一セグメント上に構成する必要があります。

①サーバスキャンしたデータを中継するためのPC
②ファイルサーバ
③プロファイル作成用のPC（クライアントPC）

①サーバスキャンしたデータを中継するためのPC
サーバスキャンしたデータの中継に利用します。このPCには、本製品に付属のソフトウェア［EPSON Server Scan Agent］をインストールします。

※本書では、このPCのことを［ServerScan PC］と呼びます。

- EPSON Server Scan Agentは、Windows専用のソフトウェアです。
- ファイルサーバのOSがNetWareの場合は、Novell Clientをインストールする必要があります。詳しくは57ページをご覧ください。
- ファイルサーバのOSがWindowsの場合は、ファイルサーバと同一のPCでも構いません。
  なお、同一のPCにすると、次のメリットがあります。
  ・ネットワーク構成を簡略化できますので、取り込み速度が速くなります。また、ネットワークの負荷が軽くなります。
  ・サーバスキャン設定時および実行時は、ファイルサーバ／ServerScan PCの両方がネットワークにログオン(参加)していないと、設定不可またはエラーになります。同一のPCであれば、このような問題は起こりません。

ファイルサーバのOSがWindowsの場合は、同一のPCでもOK。

②ファイルサーバ
取り込んだ画像を保存するためのサーバです。対応OSについては次ページをご覧ください。

③プロファイル作成用のPC(クライアントPC)
プロファイルの作成に利用します。プロファイルとは、原稿サイズ・色数・解像度などの取り込み設定や、保存先のフォルダ・ファイル形式などを記述しておくファイルのことです。
このPCには、本製品に付属のソフトウェア［EPSON Scan Editor］をインストールします。
サーバスキャンでは、EPSON Scan Editorで作成したプロファイルの内容に従って画像の取り込み・保存が実行されます。

- EPSON Scan Editorは、Windows専用のソフトウェアです。
- ファイルサーバのOSがNetWareの場合は、Novell Clientをインストールする必要があります。詳しくは57ページをご覧ください。
- プロファイルはサーバスキャンを利用するユーザーそれぞれの意図によって作り分けるものです。そのため、このソフトウェアは各ユーザーのPC(クライアントPC)にインストールしてください。
  なお、サーバスキャン実行時はプロファイルが必要なため、プロファイルは自動的に②ファイルサーバに保存されます。

サーバスキャンの動作環境

システム構成

コピーユニットおよび、コピーユニットが対応しているA3スキャナと接続すること。

ネットワーク環境

ネットワーク環境の説明については、ネットワーク管理者の方がお読みください。

- ESNSB2、ServerScan PCおよびEPSON Scan Editorを実行するPCはTCP/IPプロトコルで通信するため、それぞれにIPアドレスが必要です。
  （ESNSB2は、RARP・BOOTP・DHCPに対応しています。ただし、これらのプロトコルを使用するとIPアドレスが自動的に割り当てられるため、ESNSB2に割り当てられたIPアドレスをServerScan PC側で都度設定し直す必要があります。IPアドレスが頻繁に変わると不便ですので、ESNSB2はIPアドレスを自動取得せず、個別に設定してください）
- ESNSB2は10BASE-T／100BASE-TX自動切替ですので、どちらの形態でも接続可能です。しかしネットワークが高速であるほど画像取り込みが高速になるため、100BASE-TXの高速ネットワークおよび、ネットワーク負荷の軽い環境での使用をお勧めします。
  なお、100BASE-TX専用HUBを使用する場合は、接続されるすべての機器が100BASE-TX対応であることを確認してください。
- 高解像度の画像データを取り込むと、画像データは膨大な容量になります（22ページ参照）。ファイルサーバのハードディスク空き容量にご注意ください。
  また、必要に応じて、スキャナを共有するPCのセグメントを他のセグメントと分けるなど、スキャナの使用頻度やデータ容量に合わせたネットワーク環境にしておいてください。
- ESNSB2（スキャナ）、ファイルサーバ、ServerScan PCおよびEPSON Scan Editorを実行するPCは、同一セグメント内に構成してください。セグメントを越えて利用することはできません。

ファイルサーバの対応OS

対応OS	プロトコル
Windows 95/98/Me、NT4.0 Server/Workstation、2000 Server/Professional、XP Professional/Home Edition	TCP/IP
NetWare 3.12J/3.2J、4.1J/4.11J（IntranetWare）/4.2J	IPX
NetWare 5J/5.1J/6J	TCP/IP、IPX

EPSON Server Scan Agent（ServerScan PC）

Windows 専用のソフトウェアです。動作環境は次の通りです。

CPU	Intel Pentium 以上
OS	Windows 95/98/Me、NT4.0 Server/Workstation（サービスパック3以上）、2000 Server/Professional、XP Professional/Home Edition ※ファイルサーバの OS が NetWare の場合、Novell Client が対応していない OS では使用できません。
表示	解像度：640 × 480 ドット以上 色　数：256 色以上
メモリ	サーバスキャン実行時、一時的にServerScan PCのメモリを使用します（データが通過するのみで、蓄積はされません）。画像データ容量にもよりますが、メモリ容量は多いほど有利なため64MB以上を推奨します。
ハードディスク	基本的に使用しませんが、メモリ容量が少ない場合は一時的に使用される場合があります。
プロトコル	TCP/IP プロトコルが組み込まれ、IP アドレスが設定されていること。
ネットワークボード	PC メーカーによって保証されたネットワークボード、ドライバを使用すること。
ネットワークコンポーネント	ファイルサーバの OS が NetWare の場合は、Novell Client がインストールされていること（57 ページ参照）。

EPSON Scan Editor（クライアント PC）

Windows 専用のソフトウェアです。動作環境は次の通りです。

CPU	Intel Pentium 以上
OS	Windows 95/98/Me、NT4.0 Workstation、2000 Professional、XP Home Edition ※ファイルサーバの OS が NetWare の場合、Novell Client が対応していない OS では使用できません。
表示	解像度：640 × 480 ドット以上 色　数：256 色以上
メモリ	16MB 以上
プロトコル	TCP/IP プロトコルが組み込まれ、IP アドレスが設定されていること。
ネットワークボード	PC メーカーによって保証されたネットワークボード、ドライバを使用すること。
ネットワークコンポーネント	ファイルサーバの OS が NetWare の場合は、Novell Client がインストールされていること（57 ページ参照）。

画像データ容量について

画像取り込み時の解像度などの設定によっては、膨大な量のデータがネットワーク上を流れてしまいます。そのため、取り込む画像の用途に合わせて、適切な解像度で取り込んでください。解像度設定の目安は次の通りです。

取り込む画像の用途	解像度	容量の目安（非圧縮）
ディスプレイ表示用途のみ	72dpi	1,024 × 768 ドット、 24bit カラーで約 2.2MB
EPSON カラーインクジェットプリンタでのファイン印刷	150dpi	A4、24bit カラーで約 6.1MB
EPSON カラーインクジェットプリンタでのフォト／スーパーファイン印刷	300dpi	A4、24bit カラーで約 24.5MB
カラーレーザープリンタでの印刷	200dpi	A4、24bit カラーで約 11MB
モノクロレーザープリンタでの印刷	200dpi	A4、8bit グレーで約 3.7MB
文字原稿の認識（OCR）	400dpi	A4、モノクロで約 1.8MB

備考／ご注意

- 解像度が 2 倍になると、容量は約 4 倍になります。また原稿サイズが 2 倍になると、容量は約 2 倍になります。
- 取り込む画像の容量の目安は、EPSON TWAIN xx Network の［出力サイズ］または［原稿サイズ］項目で確認することができます。
- ハードディスクには、最低でも取り込む画像データ容量の 2 倍以上の空き容量がないと、取り込むことはできません。
- スキャナの機種によっては 24bit を越える階調での取り込みができますが、24bit を越える階調のデータは、24bit データの 2 倍の容量になります。そのため、不必要に 24bit を越える階調で取り込まないでください。
- 大きな画像データを取り込む必要がある場合は、ネットワークユーザー数（ネットワークの負荷）が少ない時に行うなどの配慮をしてください。

ESNSB2 のセットアップ

ここでは、ESNSB2のセットアップ手順を説明しています。

設置上のご注意

本機は、次のような場所に設置してください。

水平で安定した場所	風通しの良い場所	次の気温と湿度の場所
水 平		5〜35℃ 10〜80%

本機は精密な機械･電子部品で作られています。次のような場所に設置すると動作不良や故障の原因となりますので、絶対に避けてください。

直射日光の当たる場所	ほこりや塵の多い場所	温度変化の激しい場所
湿度変化の激しい場所	**火気のある場所**	**水に濡れやすい場所**
揮発性物質のある場所	**冷暖房器具に近い場所**	**震動のある場所**
ベンジン		震 動

- テレビ・ラジオに近い場所には設置しないでください。本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しておりますが、微弱な電波は発信しております。近くのテレビ・ラジオに雑音を与えることがあります。
- 静電気の発生しやすい場所でお使いになる時は、静電気防止マットなどを使用して静電気の発生を防いでください。

ESNSB2 の接続

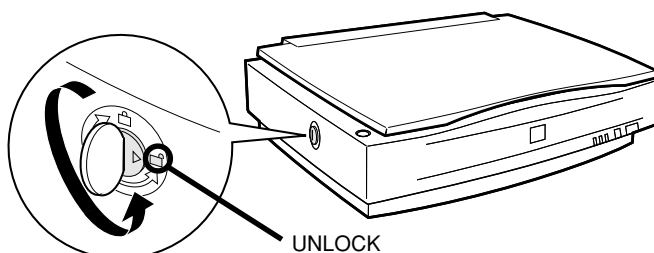
スキャナの準備

スキャナを ESNSB2 と接続する前に、次の作業を行ってください。

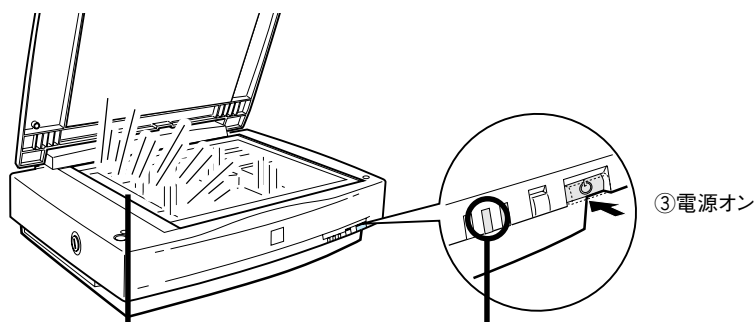
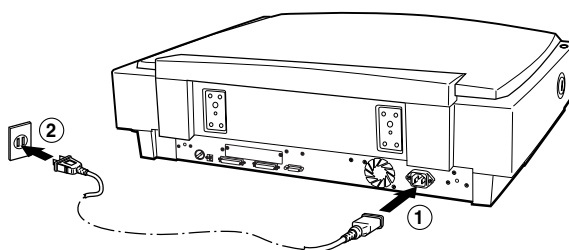
スキャナを既に使用している場合、この作業は不要です。次ページに進んでください。

1

輸送用固定ノブまたはレバーを解除

図は ES-6000HS の例です。詳しい手順については、スキャナに付属の取扱説明書をご覧ください。

2

電源を接続し、スキャナ単体での動作を確認

図は ES-6000HS の例です。詳しい手順については、スキャナに付属の取扱説明書をご覧ください。

スキャナとネットワークへの接続

ES-8000 をお使いの方へ

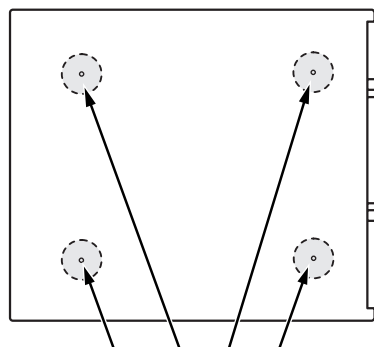
本製品に付属しているSCSIケーブルは、D-Sub25ピン×50ピン高密度ピンタイプ（シールド型）です。ES-8000のSCSIコネクタはアンフェノール50ピン（フルピッチ）ですので、ES-8000と接続する場合は、ES-8000に付属しているSCSIケーブルを使用してください。

コピーユニットと組み合わせてお使いの方へ

ESNSB2をコピーユニットと組み合わせてお使いの場合、コピーユニットへの取り付け方法については、コピーユニットの取扱説明書をご覧ください。

ゴム足の貼り付け

スキャナにESNSB2のみ接続して使用する場合（コピーユニットと組み合わせない場合）は、ESNSB2の底面に付属のゴム足を貼り付けてください。
ゴム足を貼り付けることにより、設置が安定します。

コピーユニットと組み合わせてお使いの場合、ゴム足は貼り付けないでください。

ゴム足の中央を、底面の目印（点）に合わせて貼り付けます

スキャナとの接続

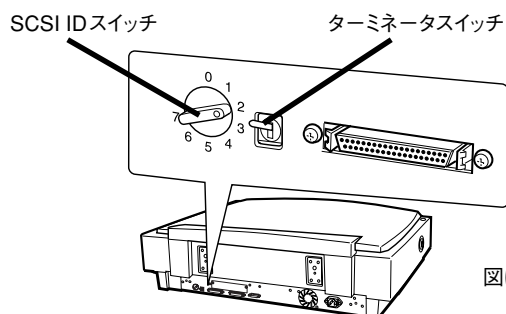
注意

接続する前に、スキャナの電源がオフになっていることを確認してください。電源がオンの状態でケーブルを抜き差しすると、機器自体の故障の原因になります。

ポイント

スキャナには、コンピュータや他のSCSI機器などをSCSI接続（デイジーチェーン）しないでください。これらを接続すると正常に動作しません。
なお、USBまたはIEEE1394接続であれば、スキャナにコンピュータも接続することができます。ただし、取り込み動作を同時に行うことはできません。

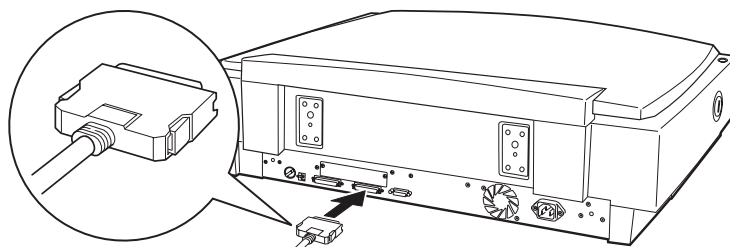
スキャナのSCSI IDを0〜6のいずれかに、ターミネータをオンに設定します。

工場出荷時は、SCSI IDは2、ターミネータはオンに設定されています。設定を変えていない場合、そのまま接続して使用できます。
設定方法の詳細は、スキャナに付属の取扱説明書をご覧ください。

図はES-6000HSの例です。

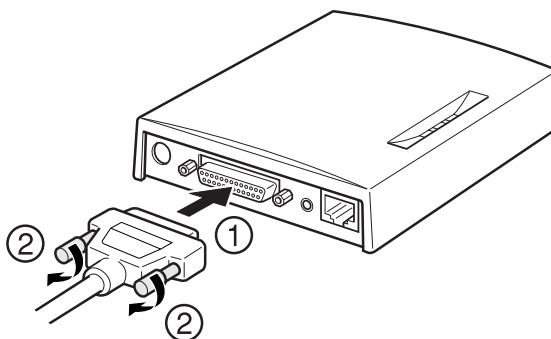
ポイント

> ESNSB2は、SCSI ID 7を使用しています。そのため、スキャナのSCSI IDを7に設定すると正常に動作しません。

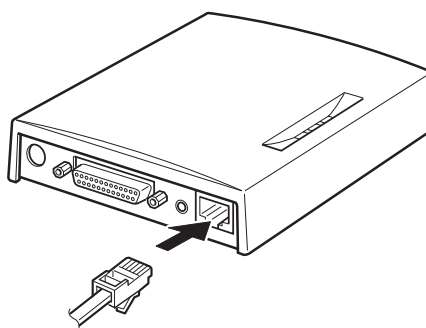
スキャナ背面のSCSIコネクタに、付属のSCSIケーブル(50ピン高密度ピンタイプ側)を接続します。

カチッと音がするまで、確実に差し込んでください。
図はES-6000HSの例です。

ポイント

> ES-9000Hをお使いの場合は、50ピンコネクタに接続してください(ESNSB2は、Wide SCSIには対応していません)。また、SCSIデータバス幅切替スイッチをNの位置にしてください。

3 SCSIケーブルのもう一方(D-Sub25ピン側)をESNSB2に接続し、コネクタ両脇のネジで固定します。

ネットワークへの接続

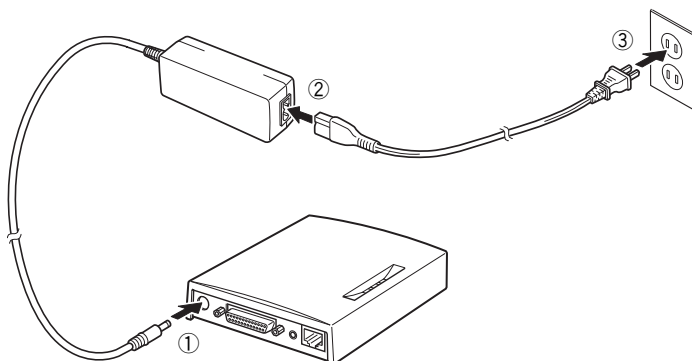
4 ESNSB2のモジュラージャックに、ネットワークケーブルを接続します。

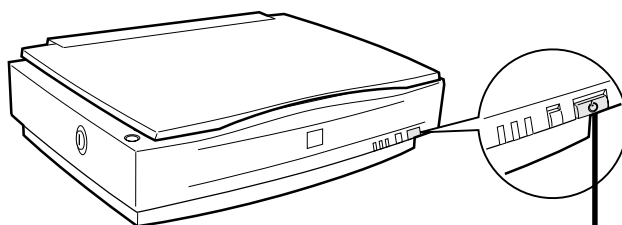
カチッと音がするまで、確実に差し込んでください。

ACアダプタの接続

⚠注意

- 巻頭の［安全にお使いいただくために］を参照の上、正しくお取り扱いください。
- 本製品を長い間使用しない場合は、コンセントから電源プラグを抜いてください。

コンセントの電圧がAC100Vであることを確認し、付属のACアダプタを接続します。

図中の番号順に、確実に接続してください。
AC アダプタは、必ず付属品をお使いください。

電源の投入

スキャナのOPERATEスイッチを押して電源をオンにします。

図はES-6000HSの例です。

スキャナの電源をオンにすると、ESNSB2 の電源も連動してオンになり、ESNSB2 のランプの状態が次のように変わっていきます。Ready ランプの点滅が点灯に変わったら、準備完了です。

ESNSB2 および スキャナの状態	ランプの状態		
	Ready	Network	Error
電源投入直後 ↓ 準備中 ↓ 準備完了 （取り込み動作可能）	点灯 ↓ 規則的に点滅 ↓ 点灯	点灯 ↓ 規則的に点滅 ↓ 不規則に点滅 （データ送受信中の状態）	点灯 ↓ 消灯 ↓ 消灯

ポイント

- スキャナの電源をオンにしてもESNSB2の電源がオンにならない場合は、ACアダプタおよびSCSIケーブルが確実に接続されているか確認してください。
- Errorランプが消灯しない場合は、106ページを参照して対処してください。

ESNSB2のネットワーク設定

ESNSB2のネットワーク設定は、ネットワーク上のコンピュータから、付属の設定ユーティリティ[EpsonNet ScanAssist]を使用して行います。

設定で使用するコンピュータのネットワーク設定

Windowsの場合

EpsonNet ScanAssistをインストールするPCで、前もってTCP/IPを設定します。OSによっては、TCP/IPプロトコルを組み込む必要があります。

- 設定済みの場合は、[EpsonNet ScanAssistのインストール]に進んでください。
- これから設定する場合、設定手順については、スキャナに付属のネットワークガイド[TCP/IP設定]をご覧ください。

ポイント

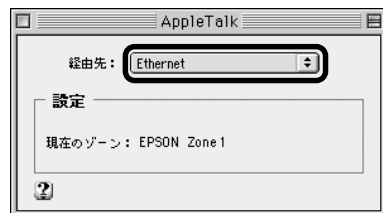
TCP/IP設定は、必ず、EpsonNet ScanAssistをインストールする前に行ってください。
EpsonNet ScanAssistのインストール後に、OSでTCP/IPプロトコルの組み込みや設定を行うと、EpsonNet ScanAssistが正常に動作しなくなることがあります。その場合は、EpsonNet ScanAssistを削除してから、インストールし直してください。

Macintoshの場合

EpsonNet ScanAssistをインストールするMacintoshで、AppleTalkを設定します。設定済みの場合は、[EpsonNet ScanAssistのインストール]に進んでください。

1 コントロールパネルの[AppleTalk]をダブルクリックして開きます。

2 経由先でEthernetを選択します。

これで設定は終了です。

EpsonNet ScanAssist のインストール

動作環境

EpsonNet ScanAssist は、次の環境で動作します。

	Windows	Macintosh
対応機種	IBM PC/AT 互換機（DOS/V）	設定する ESNSB2 と同一の AppleTalk ゾーン上にあり、下記Mac OSが動作する Macintosh
対応 OS	Windows 95/98/Me、 NT4.0 Server/Workstation（サービスパック3以上）、 2000 Server/Professional、 XP Professional/Home Edition	Mac OS 8.1 ～ 9.x
プロトコル	TCP/IP プロトコルが組み込まれ、 IP アドレスが設定されていること。	AppleTalk
ネットワークボード	PC メーカーによって保証されたネットワークボード、ドライバを使用すること。	―
ハードディスク	4MB 以上の空き容量	
表示	解像度：640 × 480 ドット以上 色数　：256 色以上	

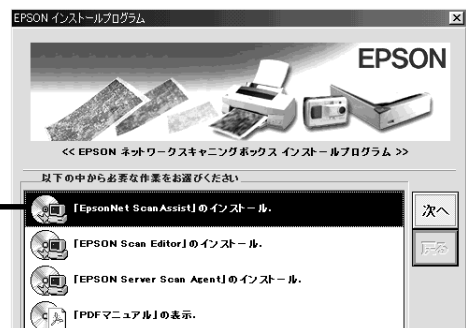
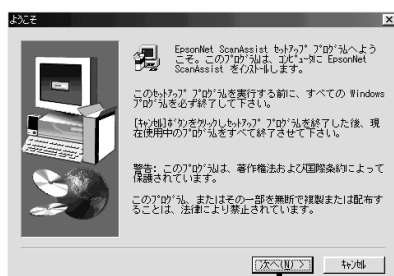
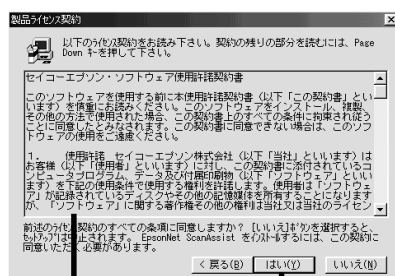
Windows でのインストール

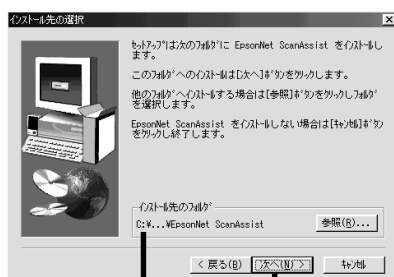
PC の OS が Windows NT/2000/XP の場合は、管理者の権限でログオンしておいてください。

1. **コンピュータに、本製品に付属のソフトウェア CD-ROM をセットします。**

2. **右の画面が自動的に表示されますので、［EpsonNet ScanAssist のインストール］をダブルクリックします。**

ダブルクリックします

右の画面が自動的に表示されない場合は、［マイコンピュータ］内のCD-ROMアイコンをダブルクリックしてください。

3 左の画面が表示されますので、① 次へ ボタンをクリックします。右の画面が表示されたら、②内容を確認して③ はい ボタンをクリックします。

4 ①インストール先のフォルダを確認し、よければ② 次へ ボタンをクリックします。③登録するプログラムグループを確認し、よければ④ 次へ ボタンをクリックします。

通常は、インストール先のフォルダおよび、プログラムグループを変更する必要はありません。

5 ［セットアップの完了］画面が表示されたら、インストールは終了です。完了 ボタンをクリックし、コンピュータを再起動してください。

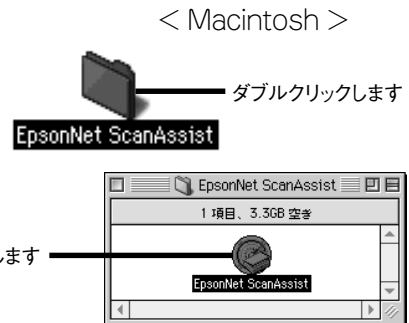
Macintosh でのインストール

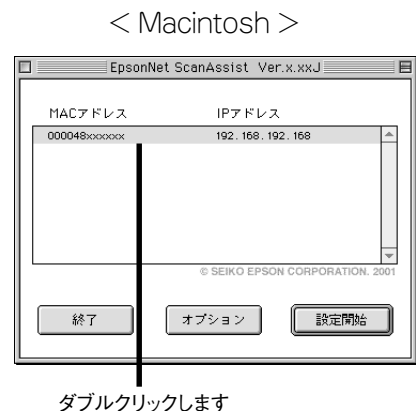
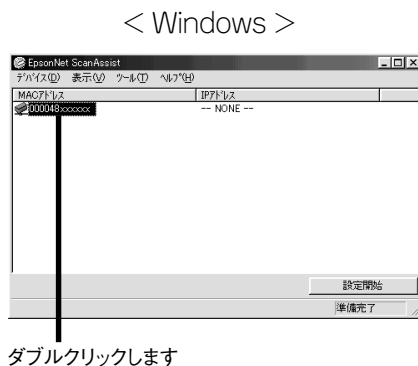
1 Macintosh に、本製品に付属のソフトウェア CD-ROM をセットします。

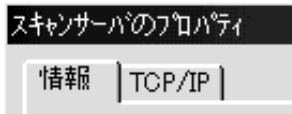
2 ［EpsonNet ScanAssist］フォルダをハードディスクにドラッグしてコピーします。

［EpsonNet ScanAssist］フォルダをダブルクリックして開き、EpsonNet ScanAssist のアイコンのみをコピーしてもかまいません。

EpsonNet ScanAssist でのネットワーク設定

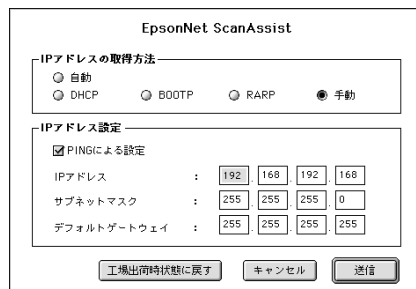
1 EpsonNet ScanAssist を起動します。

2 リスト上の ESNSB2 をダブルクリックします。

または、リスト上のESNSB2 をクリックして、[設定開始] ボタンをクリックします。

- ESNSB2 が複数台ある場合は、MAC アドレス(000048xxxxxx)で判別します。MACアドレスは、ESNSB2の底面に貼られているシールで確認できます。
- Windows をお使いで、設定する ESNSB2 が他のセグメント上にある場合は、［ツール］メニューの［探索オプション］で、探索セグメントを設定してください。詳しくは 39 ページをご覧ください。
  なお、Macintosh では、お使いの Macintosh が所属する AppleTalk ゾーン上の ESNSB2 のみ、設定できます。

3 Windows の場合は、［TCP/IP］タブをクリックします。

下表を参照し､IPアドレスの取得方法および､各種アドレスを設定します。

各種アドレスについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。なお、用語解説（132 ページ）に、各種アドレスの説明があります。

< Windows >

< Macintosh >

項目	説明
IP アドレスの取得方法 ※自動を選択する場合は注意が必要です。次ページの［ポイント］をご覧ください。	IP アドレスの取得方法を選択します。初期設定は手動です。 自動：DHCP/BOOTP/RARPサーバから自動取得する場合に選択します｡これらのサーバがない場合は選択しないでください｡また､設定に関してはサーバの取扱説明書をご覧ください。 選択する場合は､まず自動をチェックし､該当するサーバを DHCP/BOOTP/RARP から選択してください。 手動：この画面で、個別に設定する場合に選択します。
PING による設定	初期設定ではチェックされており、ネットワーク上の PC から､arp/ping コマンドによって IP アドレスを設定することができます｡arp/pingによる設定を不可にしたい場合は､チェックを外します。
IP アドレス	ESNSB2のIPアドレスを入力します｡ほかのネットワーク機器や PC で既に使用されているアドレスと重複しない値に設定してください。 工場出荷時の IP アドレスは［192.168.192.168 ］に設定されていますが、製品の仕様上、このアドレスはネットワーク上で使用できません｡お使いの環境に合わせ､必ずIP アドレスを入力してください。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します｡初期値は､255.255.255.0です。
デフォルトゲートウェイ	ゲートウェイになるサーバやルータがある場合に、サーバやルータのアドレスを入力します｡ゲートウェイがない場合は､初期値（255.255.255.255）のままにしておいてください。

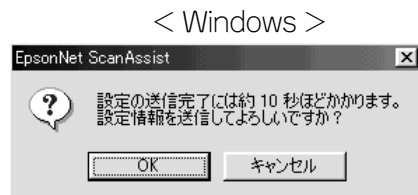
ポイント

- IPアドレスの取得方法で自動を選択すると、スキャナ（ESNSB2）の電源を入れるたびに、クライアントPC側でESNSB2のアドレスを指定し直す必要があります。そのため、ESNSB2のIPアドレスは手動で設定することをお勧めします。
- IPアドレスの取得方法で自動を選択する場合は、スキャナ（ESNSB2）の電源を入れる順番を決めておくか、または電源を常時オンにすると、電源を入れるたびにクライアントPC側でESNSB2のアドレスを指定し直す必要はありません。
- ダイヤルアップ環境でお使いの場合は、42ページの注意をご覧の上、設定してください。
- Macintoshの場合、 工場出荷時状態に戻す ボタンをクリックすると、ESNSB2の設定が工場出荷時の状態に戻ります。この時、パスワードの入力が必要です。

5 設定したら、OK または 送信 ボタンをクリックします。

6 次の画面が表示されます。OK ボタンをクリックします。

< Windows >

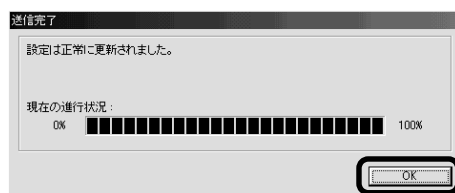
< Macintosh >

7 パスワード入力画面が表示されます。

工場出荷時の状態では、パスワードは何も設定されていません。

- パスワードを設定しない場合は、何も入力せずに OK ボタンをクリックしてください。 設定が送信されます。
- パスワードを設定する場合は、37ページをご覧ください。

< Windows >

< Macintosh >

8 Windowsの場合は、［設定は正常に更新されました］と表示されたら、OK ボタンをクリックします。

9 ❷の画面に戻りますので、クローズ（✕）ボタンまたは 終了 ボタンをクリックして、EpsonNet ScanAssistを終了します。

これでESNSB2のセットアップは終了です。この後は、下記のページに進んでください。

ネットワークスキャンを行う場合　：43ページ

サーバスキャンの準備に進む場合：47ページ（Windows）または55ページ（NetWare）

パスワードの設定方法

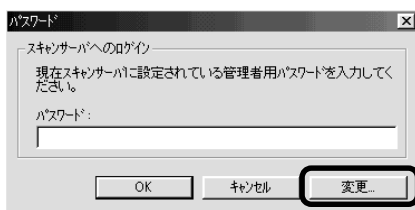
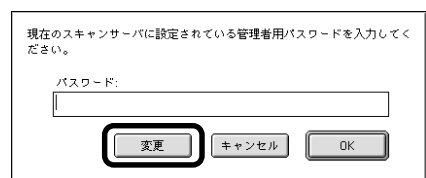
パスワードは、ESNSB2の設定を保護するためのものです。パスワードを設定または変更する場合は、次の手順に従ってください。

1 はじめてパスワードを設定する場合や、パスワードを変更する場合は、変更ボタンをクリックします。

工場出荷時状態では、パスワードは何も登録されていません。

< Windows >

< Macintosh >

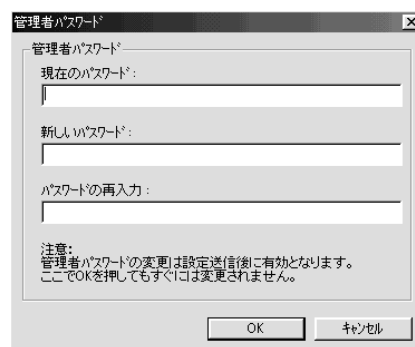
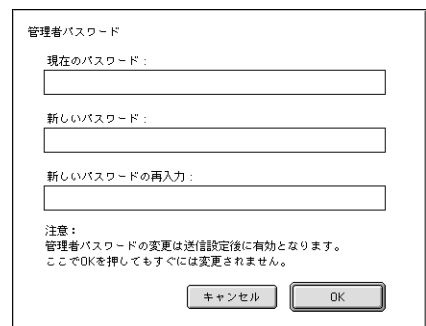
現在のスキャンサーバに設定されている管理者用パスワードを入力してください。
パスワード:
変更　キャンセル　OK

2 次の画面が表示されますので、各パスワードを半角英数20文字以内で入力して、OKボタンをクリックします。

大文字・小文字は区別されます。

< Windows >

管理者パスワード
管理者パスワード
現在のパスワード:
新しいパスワード:
パスワードの再入力:
注意:
管理者パスワードの変更は設定送信後に有効となります。
ここでOKを押してもすぐには変更されません。
OK　キャンセル

< Macintosh >

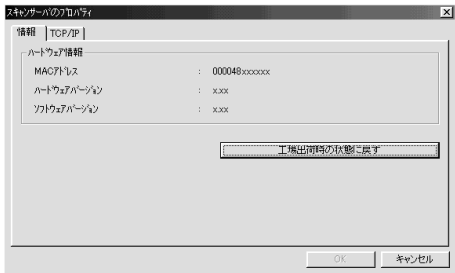
管理者パスワード
現在のパスワード:
新しいパスワード:
新しいパスワードの再入力:
注意:
管理者パスワードの変更は送信設定後に有効となります。
ここでOKを押してもすぐには変更されません。
キャンセル　OK

3 1の画面に戻りますので、OKボタンをクリックします。

ポイント

- 新しいパスワードは、3の後で有効になります。[管理者パスワード]画面で設定した直後は、1の画面で現在のパスワードを入力してください。
- パスワードは、EpsonNet ScanAssist(Windows版/Macintosh版)、EpsonNet WebAssist、EPSON Server Scan Agent共通です。それぞれのユーティリティを使う場合は、パスワードの管理に注意してください。
- パスワードを忘れてしまった場合は、ESNSB2を工場出荷時の設定に戻す必要があります。工場出荷時の設定に戻す方法については、111ページをご覧ください。

各画面とメニューの詳細説明（Windows）

［情報］画面

この画面には、ESNSB2 の MAC アドレスや、バージョンなどが表示されます。

項目	説明
MAC アドレス	MAC アドレスが表示されます。
ハードウェアバージョン	ESNSB2 のハードウェアバージョンが表示されます。
ソフトウェアバージョン	ESNSB2 のソフトウェアバージョンが表示されます。
［工場出荷時の状態に戻す］ボタン	ESNSB2 の設定を工場出荷時の状態に戻します。パスワードの入力が必要です。
［OK］ボタン	設定を送信します。
［キャンセル］ボタン	設定を取り消します。

各メニューの詳細説明

［デバイス］メニュー

項目	説明
設定	リストで選択した ESNSB2 の設定を開始します。
アプリケーションの終了	EpsonNet ScanAssist を終了します。

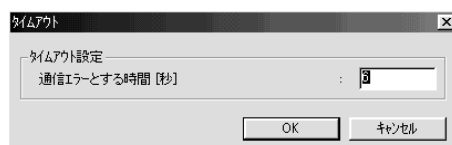
［表示］メニュー

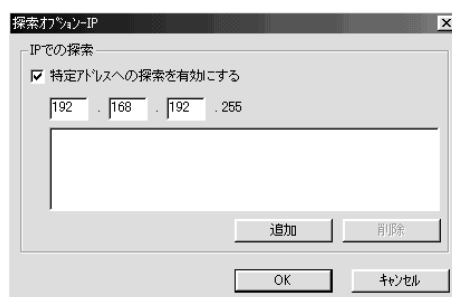
項目	説明
最新の情報に更新	ESNSB2 の再検索を行い、リスト画面の一覧表示を最新の情報に更新します。

［ツール］メニュー

項目	説明
タイムアウト設定	ESNSB2 とデータを送受信する際のタイムアウト時間を、2 ～ 120 秒の間で設定します。 設定した時間を超えた場合は、通信エラーになります。詳しくは下記をご覧ください。
探索オプション	IP の探索オプションを設定します。詳しくは下記をご覧ください。

［ツール］－［タイムアウト設定］

通常は変更する必要はありません。
探索オプションで、他のセグメントを探索するよう設定した結果、通信エラーが表示された場合に、タイムアウト時間を長めに設定してください。
2 ～ 120 秒の間で設定します。ここで設定した時間を超えた場合は、通信エラーになります。初期値は 6 秒です。なお、タイムアウト時間を長くすると、探索に時間がかかります。

［ツール］－［探索オプション］

他のセグメントにあるESNSB2 を設定したい場合は、ここでセグメント（ネットワークアドレス）を指定します。
ここで特定のネットワークアドレスを指定すると、指定したセグメントにあるESNSB2が探索されます。ここで設定して保存した値は、［表示］メニューの［最新の情報に更新］を実行するか、EpsonNet ScanAssistを再起動した時に有効になります。

アドレスの設定手順

［特定アドレスへの探索を有効にする］にチェックを付けます。

ポイント

他セグメントのESNSB2を設定しない場合はチェックしないでください。探索に時間がかかります。

探索するネットワークアドレスを入力します（0～255）。

同一セグメント内にあるアドレスは追加しないでください。
ネットワーククラスにより、次のように入力してください。
クラスA：［入力］．［255］．［255］．［255］
クラスB：［入力］．［入力］．［255］．［255］
クラスC：［入力］．［入力］．［入力］．［255］

入力例）
探索するネットワークのサブネットマスクが 255.255.255.0、IP アドレスが 192.168.124.???（??? はホストアドレス）の場合
［192 ］．［168 ］．［124 ］．［255（固定）］

サブネットマスクに、255.255.240.0 のように、255 以外の数値がある場合は、ホスト部のビットをすべて 1 にしたブロードキャストアドレスを入力します。
入力例）
探索するネットワークで使用している IP アドレスが 192.168.124.??? の場合
上記の IP アドレスを 2 進数で表すと次のようになります。
11000000.10101000.01111100.????????
ホスト部のビットをすべて 1 にしたブロードキャストアドレスは次のようになります。
11000000.10101000.01111111.11111111　（下線がホスト部）
これを 10 進数で表すと 192.168.127.255 になりますので、入力するアドレスは［192］［168］［127］です。

追加 ボタンをクリックして、一覧にネットワークアドレスを追加します。最大 20 個登録できます。

なお、設定したアドレスを削除する場合は、一覧から削除するアドレスを選択して、削除 ボタンをクリックします。

4

OK ボタンをクリックして、設定を保存します。

タイムアウト時間の設定（Macintosh 版）

起動直後の画面で オプション ボタンをクリックすると、タイムアウト時間の設定画面が表示されます。

タイムアウト時間

通常は変更する必要はありません。
設定時に通信エラーが表示された場合に、タイムアウト時間を長めに設定してください。
1 ゾーンあたりの通信に使用するタイムアウトのベース時間を、3 ～ 99 秒の間で設定します。初期値は 5 秒です。なお、タイムアウト時間を長くすると、探索に時間がかかります。
この設定は、EpsonNet ScanAssist の再起動後に有効になります。

ダイヤルアップルータ使用時のご注意

ここでは、ダイヤルアップルータを使用している場合の、設定の注意点を説明します。

DHCP 機能使用時の注意

DHCP 機能をお使いの場合、ESNSB2 の IP アドレスを DHCP 機能で割り当てると、スキャナ（ESNSB2）の電源を入れるたびに、クライアント PC 上でアドレスの設定を変更しなければなりません。
そこで、ESNSB2 には次のいずれかの方法で固定の IP アドレスを設定することをお勧めします。

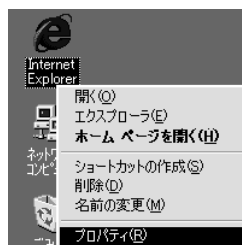
方法 1：ESNSB2 に、スコープ（クライアントに割り当てる IP アドレスの範囲）の範囲外である IP アドレスを、手動で設定する。
方法 2：ダイヤルアップルータ DHCP 機能のバインドを使用して、ESNSB2 を特定する。
方法 3：ダイヤルアップルータ DHCP 機能の除外アドレスを設定する。

ポイント

DHCP 機能のスコープ範囲、バインド、除外アドレス設定方法などについては、ダイヤルアップルータの取扱説明書をご覧ください。

Web ブラウザの設定についての注意

EpsonNet WebAssist を使う場合、Web ブラウザはプロキシサーバを使用しない設定にしてください。ここでは Internet Explorer を例に説明します。

1 デスクトップ上の［Internet Explorer］アイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択します。

2 表示される画面で［接続］タブをクリックし、LAN の設定 ボタンをクリックします。

3 ［プロキシサーバーを使用する］または［プロキシサーバを使用してインターネットにアクセス］のチェックを外します。

OK ボタンをクリックして、設定を保存してください。

ポイント

［プロキシサーバーを使用する］または、［プロキシサーバを使用してインターネットにアクセス］にチェックが付いていると、EpsonNet WebAssist を起動できません。

ネットワークスキャンの仕方

ここでは、ネットワーク経由での取り込み手順の概要を説明しています。

ネットワークスキャンの準備

クライアント PC の TCP/IP 設定

スキャナを利用するPCで、各種アドレスを設定します。OSによっては、TCP/IPプロトコルを組み込む必要があります。

- 設定済みの場合は、次の手順に進んでください。
- これから設定する場合、設定手順については、スキャナに付属のネットワークガイド［TCP/IP 設定］をご覧ください。

ソフトウェアのインストール

クライアント PC に、スキャナを使用するためのソフトウェア［EPSON TWAIN xx Network］および、TWAIN 対応アプリケーションをインストールします。次の手順に従ってください。

スキャナと ESNSB2 の準備

EPSON TWAIN xx Network をインストール後、ESNSB2 と通信して接続の設定とテストを行います。そのため、EPSON TWAIN xx Network をインストールする前に、スキャナ /ESNSB2 側で次の準備をしておいてください。

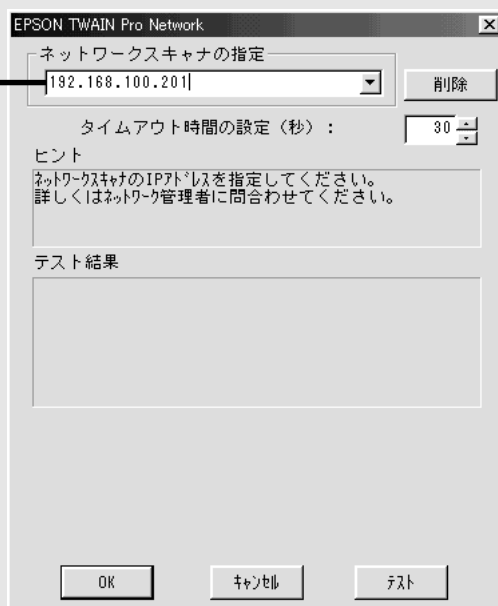
1 スキャナの電源をオンにします。

スキャナの電源をオンにすると、ESNSB2 の電源も連動してオンになります。

ソフトウェアのインストールとネットワークスキャナの指定

2 クライアント PC に、EPSON TWAIN xx Network および、TWAIN 対応アプリケーションをインストールします。

これらのソフトウェアは、スキャナの付属品を使います。スキャナに付属のソフトウェア CD-ROM をご用意ください。
インストール手順については、スキャナに付属のネットワークガイド［ソフトウェアのインストール］をご覧ください。なおネットワークガイドに、スキャナサーバおよび EPSON Scan Server に関する記載がある場合は、無関係ですので読み飛ばしてください。

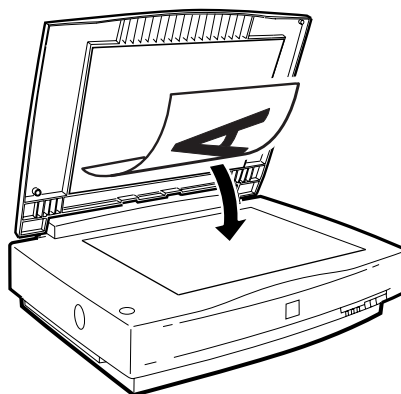
EPSON TWAIN xx Networkのインストール中、次の画面が表示され、ここでネットワークスキャナの指定とテストを行います(画面はWindows版のEPSON TWAIN Pro Network Rev.2.0aでの例)。

［ネットワークスキャナの指定］ボックスには、ESNSB2のIPアドレスを入力してください。画面は例です。

ネットワークスキャンの仕方

スキャナとESNSB2の準備

1 **スキャナの電源をオンにします。**

スキャナの電源をオンにすると、ESNSB2の電源も連動してオンになります。

2 **スキャナに原稿をセットします。**

画像の取り込み

EPSON Scan to File（または市販のTWAIN対応アプリケーション）および、EPSON TWAIN xx Networkを使用して、画像を取り込みます。詳しくは、スキャナに付属のネットワークガイド［ネットワーク経由での取り込み方］をご覧ください。

スキャナに付属のネットワークガイドに、スキャナサーバという言葉がある場合は、ESNSB2と読み替えてください。

サーバスキャン設定の前に（Windows）

ここでは、サーバOS がWindows の場合に、サーバスキャンの新規設定前に必要な準備作業を説明しています。

設定の流れ

この章で説明している設定作業の流れを説明します。まず流れを把握していただき、それぞれの参照先に従って作業を進めてください。

① ESNSB2 をコピーユニットおよび、コピーユニットが対応している A3 スキャナと接続

コピーユニットの取扱説明書を参照し、ESNSB2をコピーユニットおよび、コピーユニットが対応している A3 スキャナに接続してください。

※ サーバスキャン機能は、ESNSB2 をコピーユニットおよび、コピーユニットが対応している A3 スキャナに接続してお使いの場合のみ、利用できる機能です。ESNSB2 とスキャナだけでは利用できません。

②各 PC でネットワーク設定

ファイルサーバ・ServerScan PC・クライアントPC で、次の設定をします。

- TCP/IP プロトコルの組み込みと IP アドレスの設定
  → スキャナに付属のネットワークガイド［TCP/IP 設定］
- OS が Windows95/98/Me の場合は、ネットワークソフトの組み込み
  → 49 ページ参照

これらの設定は、ESNSB2・ファイルサーバ・ServerScan PC・クライアントPC が通信するために必要です。

- 各 PC でこれらの設定が済んでいる場合は、③に進んでください。
- 特に TCP/IP 設定では各種ネットワークアドレスなどの知識が必要なため、ネットワーク管理者の方が行うことをお勧めします。

③ファイルサーバに共有フォルダを作成

ファイルサーバに、共有フォルダをいくつか作成します。

→51 ページ参照

ネットワーク設定

TCP/IP 設定

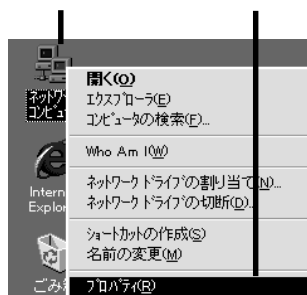
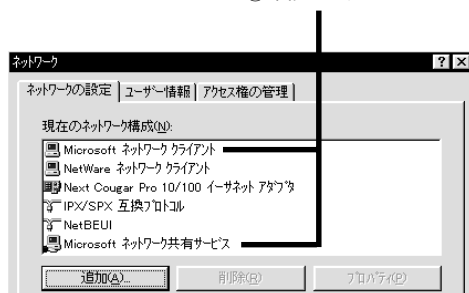
ファイルサーバ・ServerScan PCとして利用するPC・クライアントPCでTCP/IP設定をしていない場合は、スキャナに付属のネットワークガイド［TCP/IP 設定］を参照して設定してください。

ネットワークソフトの組み込み

各PCのOSがWindows95/98/Meの場合は、下表に示すネットワークソフトを組み込む必要があります。

PC	必要なネットワークソフト
ServerScan PCとして利用するPC	Microsoft ネットワーククライアント
クライアントPC	Microsoft ネットワーククライアント
ファイルサーバ	Microsoft ネットワーク共有サービス

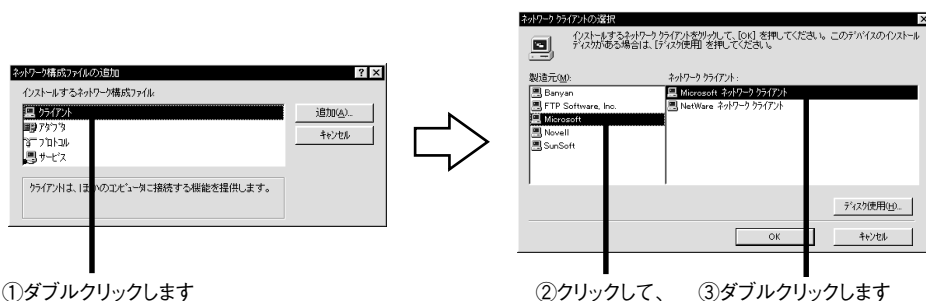
以降、組み込み手順を共通で説明します。

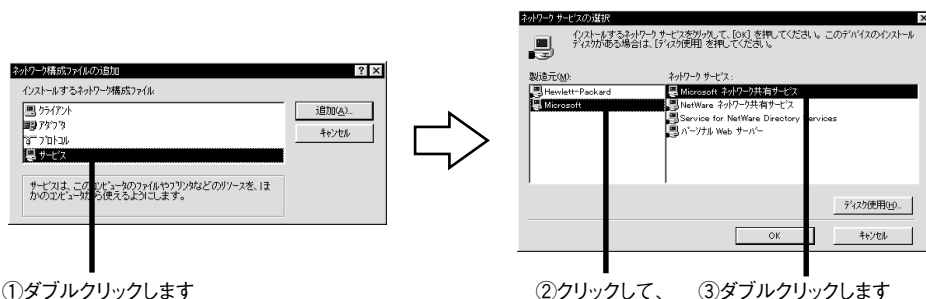
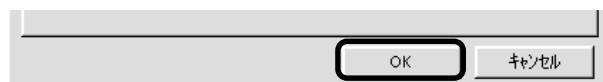
1 ①［ネットワークコンピュータ］または［マイ ネットワーク］アイコンを右クリックし、②［プロパティ］を選びます。③現在のネットワーク構成に、［Microsoft ネットワーククライアント］または［Microsoft ネットワーク共有サービス］があることを確認します。

2 ［Microsoftネットワーククライアント］または［Microsoftネットワーク共有サービス］がない場合は、追加 ボタンをクリックします。

ある場合は、設定の必要はありません。キャンセル ボタンをクリックし、51ページに進んでください。

下の画面を参照し、インストールするネットワーク構成ファイル、製造元、ネットワークソフトを選択します。

＜Microsoft ネットワーククライアントを組み込む場合＞

①［クライアント］をダブルクリックします。②製造元で［Microsoft］を選択し、③［Microsoft ネットワーククライアント］をダブルクリックします。

＜Microsoft ネットワーク共有サービスを組み込む場合＞

①［サービス］をダブルクリックします。②95/98の場合は、製造元で［Microsoft］を選択し、③［Microsoft ネットワーク共有サービス］をダブルクリックします。

［ネットワーク］画面に戻るので、OK ボタンをクリックします。

これでネットワークソフトの組み込みは終了です。しばらくすると［再起動しますか?］と表示されるので、はい を選んでコンピュータを再起動してください。

共有フォルダの作成

まずファイルサーバ上に、次の2種類の共有フォルダを作成します。

スキャナホームフォルダ

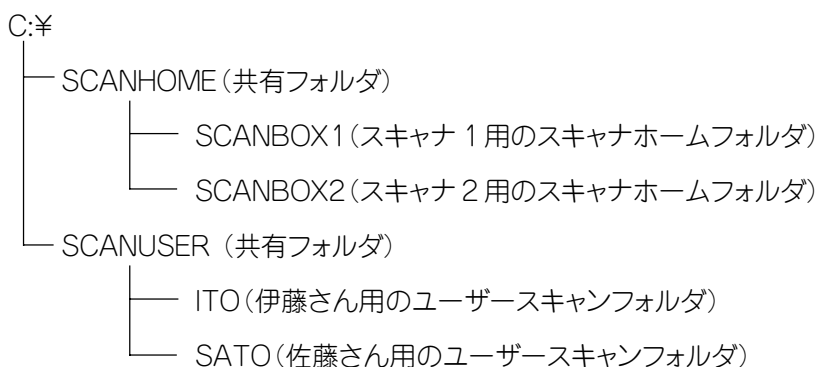
スキャナおよびユーザー情報を保存するフォルダを、スキャナホームフォルダといいます。これを共有フォルダとして作成しておきます。

スキャナは30台まで登録可能です(ただし、ServerScan PCに同時接続できるのは5台までです)。複数台登録する場合は、スキャナ1台につき1つのスキャナホームフォルダを作成してください。複数のスキャナでスキャナホームフォルダを共有することはできません。

ユーザースキャンフォルダ

サーバスキャンしたデータおよび、プロファイル(取り込み設定ファイル)を保存するフォルダを、ユーザースキャンフォルダといいます。これを共有フォルダとして作成しておきます。

ユーザーはスキャナ1台につき30人まで登録可能です。フォルダはユーザーごとに分けてください。ただし、複数のスキャナに同じユーザーを登録する場合は、同じフォルダを指定することもできます。

＜作成例＞

上記は、1つの共有フォルダの下層に、各スキャナ用のスキャナホームフォルダおよび、各ユーザー用のユーザースキャンフォルダを作成する例です。

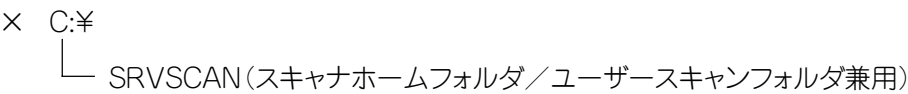
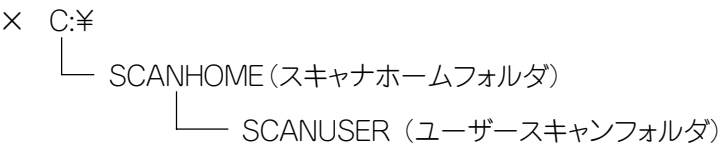
このような場合は、SCANHOMEフォルダとSCANUSERフォルダを作成しておいてください。その下層フォルダは、EPSON Server Scan Agentで作成します。

共有フォルダ作成上のご注意

- 2種類の共有フォルダは、半角英数8文字以内で作成しておいてください。
  また、半角英数9文字以上または全角文字で名称が設定されているサーバ・ドライブ（ハードディスク）・フォルダの下層には作成しないでください。
  なお、フォルダパスの階層は、24階層以内です。

- スキャナホームフォルダとユーザースキャンフォルダは同一のファイルサーバ上に作成してください。ただし、フォルダは分けてください。兼用すると正常に動作しません。

- ユーザースキャンフォルダはスキャナホームフォルダの下層にしないでください。下層に作成すると、何らかの理由でスキャナホームフォルダを削除する場合に、ユーザースキャンフォルダ内のデータまで削除されてしまいます。

×　C:¥
　└ SCANHOME（スキャナホームフォルダ）
　　　└ SCANUSER（ユーザースキャンフォルダ）

アクセスユーザーと必要なアクセス権

各フォルダには次のユーザーがアクセスします。必要なアクセス権は次の通りです。

フォルダ	アクセスユーザー	必要なアクセス権
スキャナホームフォルダ	ServerScan PC	読み／書き
ユーザースキャンフォルダ	ServerScan PC	読み／書き
	クライアントPC	読み／書き

次ページで、共有フォルダの作成方法とアクセス権の設定方法を説明しています。

共有フォルダの作成とアクセス権の設定方法

次の操作は、共有フォルダを作成するファイルサーバ上で行ってください。
なお、ファイルサーバとServer Scan PCが同一のPCであっても、スキャナホームフォルダに対してこの設定が必要です。

1. エクスプローラなどを起動して、ファイルサーバ上に新規フォルダを作成します。
   新規フォルダを作成するドライブ（ハードディスク）をクリックし、［ファイル］メニューから［新規作成］－［フォルダ］を選びます。
2. 新しいフォルダが作成されますので、名称を入力します。
   半角英数8文字以内で作成しておいてください。
3. フォルダを右クリックし、［共有］を選びます。
4. 表示される画面で、共有とアクセス権の設定を行います。

Windows95/98/Me	：	［共有する］を選び、アクセスの種類で［フルアクセス］を選びます。
WindowsNT/2000	：	［共有する］を選びます。デフォルトで全ユーザー（Everyone）にフルコントロールの権利が与えられます。
Windows XP	：	画面の指示に従ってファイル共有を有効にしてください。

5. OK ボタンをクリックします。これで共有フォルダが作成できました。

フォルダ構成メモ欄

この後は、サーバスキャンの設定（63ページ）に進んでください。

サーバスキャン設定の前に(NetWare)

ここでは、サーバOSがNetWareの場合に、サーバスキャンの新規設定前に必要な準備作業を説明しています。

設定の流れ

この章で説明している設定作業の流れを説明します。まず流れを把握していただき、それぞれの参照先に従って作業を進めてください。

① ESNSB2 をコピーユニットおよび、コピーユニットが対応している A3 スキャナと接続

コピーユニットの取扱説明書を参照し、ESNSB2をコピーユニットおよび、コピーユニットが対応している A3 スキャナに接続してください。

※ サーバスキャン機能は、ESNSB2 をコピーユニットおよび、コピーユニットが対応している A3 スキャナに接続してお使いの場合のみ、利用できる機能です。ESNSB2 とスキャナだけでは利用できません。

② Novell Client をインストール

ServerScan PC・クライアント PC それぞれに、Novell Client をインストールする必要があります。

Novell Client は、ServerScan PC とクライアント PC が NetWare サーバと通信するために必要です。

→ 57 ページ参照

③ファイルサーバにユーザーを登録

NetWare のユーティリティを使用して、ServerScan PC およびクライアント PC を利用するユーザーを登録します。

→ 58 ページ参照

④必要に応じて、共有ドライブ上にフォルダを作成

必要に応じて、NetWare サーバの共有ドライブ上にフォルダを作成します。

→ 61 ページ参照

Novell Client のインストール

ServerScan PCおよびクライアントPCに、Novell Clientをインストールしてください。なお、Novell Clientが対応していないOSではは使用できません。
Novell Clientは、下記サイトからダウンロードしてください。

http://www.novell.co.jp（2002年11月現在）

各Windowsに対応するNovell Clientは次の通りです。

Windows95/98

Novell Client for Windows 95/98 Ver.3.3以降

WindowsNT4.0/2000/XP

Novell Client for Windows NT/2000 Ver.4.83以降

既にインストール済みの場合、ここでのインストールは不要です。

NetWare 5/6 をお使いの方へ

NetWare 5/6をサーバとして使用する場合、IPX環境でもIP環境でもサーバスキャンを行えます。
IP 環境でお使いの場合は、ServerScan PC およびクライアント PC で、TCP/IP の設定をしてください。詳しくはスキャナに付属のネットワークガイド［TCP/IP 設定］をご覧ください。

ファイルサーバへのユーザー登録

ServerScan PCおよびクライアントPCを利用するユーザーを、ファイルサーバに登録します。この作業は、サーバを管理する方が行ってください。

NetWare3.xJ

1 設定するNetWareサーバに、管理者の権限でログインします。

2 NetWareのユーティリティ“SYSCON”を起動します。

3 ユーザーを登録します。

① ［利用可能な項目］から［ユーザ情報］を選びます。

利用可能な項目
アカウント処理
カレントサーバの変更
ファイルサーバ情報
グループ情報
スーパーバイザオプション
ユーザ情報

② ユーザー名の一覧が表示されたら、Insert キーを押して、ユーザーのログイン名を47文字以内で入力します。

③ ログイン名を入力すると、［作成するユーザのディレクトリパス］画面が表示されますので、Esc キーを押して終了します。

④ 複数のユーザーを登録する場合は、②と③の手順を繰り返します。
すべてのユーザーを登録したら、Esc キーを何度か押してSYSCONを終了してください。

続いて61ページに進み、共有フォルダについて確認してください。

NetWare4/5/6J、IntranetWare-J

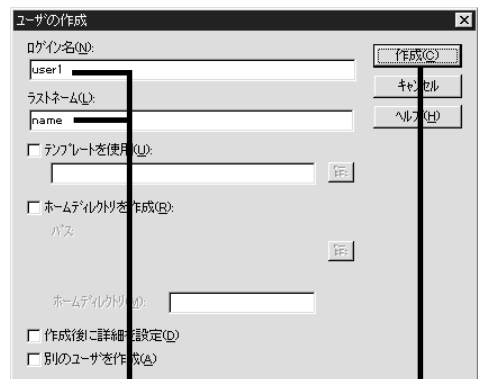
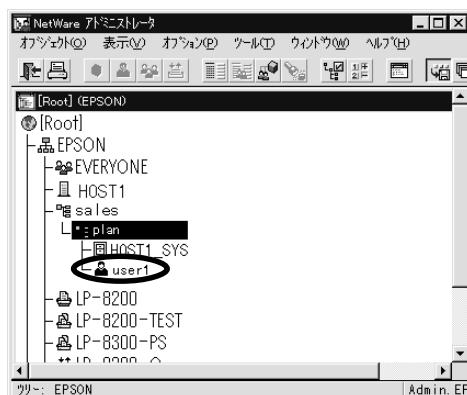
1 **設定する NetWare サーバに、管理者の権限でログインします。**

2 **NetWare のユーティリティ“NWADMIN”を起動します。**

3 **設定するNDS上(またはバインダリコンテキスト上)に、ユーザーを登録します。**

NDS モードの場合は任意の組織、部門下に、バインダリモードの場合はサーバのあるコンテキストの直下にユーザを登録します。

① ユーザオブジェクトの作成 ボタンをクリックして、[ユーザの作成] を起動します。

② [ユーザの作成] 画面で、ユーザーのログイン名とラストネームを入力し、作成 ボタンをクリックします。
47文字以内で入力してください。大文字・小文字の区別はありません。

③NDS 上（またはバインダリコンテキスト上）に、ユーザーが作成されます。

続いて 61 ページに進み、共有フォルダについて確認してください。

共有フォルダについて

サーバスキャンを行うには、ファイルサーバ上に、次の2種類の共有フォルダが必要です。

スキャナホームフォルダ

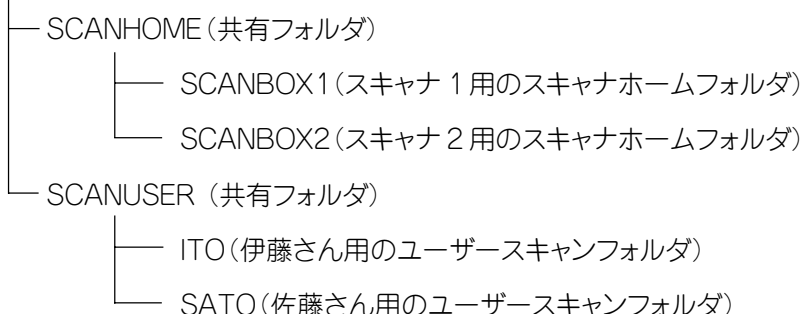
スキャナおよびユーザー情報を保存するフォルダです。これをスキャナホームフォルダといいます。

> **スキャナは30台まで登録可能です（ただし、ServerScan PCに同時接続できるのは5台までです）。複数台登録する場合は、スキャナ1台につき1つのスキャナホームフォルダが必要です。複数のスキャナでスキャナホームフォルダを共有することはできません。**

ユーザースキャンフォルダ

サーバスキャンしたデータおよび、プロファイル（取り込み設定ファイル）を保存するフォルダです。 これをユーザースキャンフォルダといいます。

> **ユーザーはスキャナ1台につき30人まで登録可能です。フォルダはユーザーごとに分けてください。ただし、複数のスキャナに同じユーザーを登録する場合は、同じフォルダを指定することもできます。**

＜フォルダ構成例＞

上記は、共有ドライブ上のフォルダの下層に、各スキャナ用のスキャナホームフォルダおよび、各ユーザー用のユーザースキャンフォルダを作成する例です。

> - **このような場合は、SCANHOMEフォルダとSCANUSERフォルダを前もって作成しておいてください。その下層フォルダは、EPSON Server Scan Agentで作成します。**
> - **スキャナホームフォルダとユーザースキャンフォルダを共有ドライブの直下に作成する場合は、EPSON Server Scan Agentで作成します。前もって作成しておく必要はありません。**

スキャナホームフォルダ / ユーザースキャンフォルダ作成上のご注意

- スキャナホームフォルダとユーザースキャンフォルダの上層のフォルダを前もって作成しておく場合、そのフォルダは、半角英数8文字以内で作成しておいてください。
  また、半角英数9文字以上または全角文字で名称が設定されているサーバ･ドライブ（ハードディスク）･フォルダの下層には作成しないでください。
  なお、フォルダパスの階層は、24階層以内です。

- スキャナホームフォルダとユーザースキャンフォルダは同一のファイルサーバ上に作成してください。ただし、フォルダは分けてください。兼用すると正常に動作しません。

  ×　共有ドライブ
  　└─ SRVSCAN（スキャナホームフォルダ／ユーザースキャンフォルダ兼用）

- ユーザースキャンフォルダはスキャナホームフォルダの下層にしないでください。下層に作成すると、何らかの理由でスキャナホームフォルダを削除する場合に、ユーザースキャンフォルダ内のデータまで削除されてしまいます。

  ×　共有ドライブ
  　└─ SCANHOME（スキャナホームフォルダ）
  　　　└─ SCANUSER（ユーザースキャンフォルダ）

フォルダ構成メモ欄

サーバスキャンの設定

ここでは、サーバスキャンの設定手順を、Windows/NetWare 共通で説明しています。

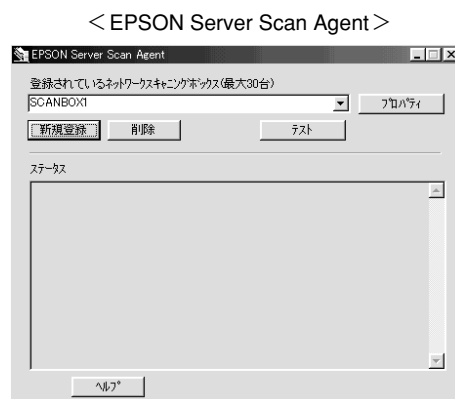
設定の流れ

この章で説明している設定作業の流れを説明します。まず流れを把握していただき、それぞれの参照先に従って作業を進めてください。

① ServerScan PC に EPSON Server Scan Agent をインストール

ServerScan PCに、本製品に付属のソフトウェア［EPSON Server Scan Agent］をインストールします。
［EPSON Server Scan Agent］は、サーバスキャンの設定および、サーバスキャンしたデータの中継を行うためのソフトウェアです。

→ 65 ページ参照

＜EPSON Server Scan Agent＞

②クライアント PC に EPSON Scan Editor をインストール

サーバスキャン機能を利用するユーザーそれぞれのＰＣに、本製品に付属のソフトウェア［EPSON Scan Editor］をインストールします。
［EPSON Scan Editor］は、プロファイル（取り込み設定ファイル）を作成するためのソフトウェアです。
サーバスキャンでは、プロファイルの内容に従って取り込み・保存が実行されます。

→ 67 ページ参照

＜EPSON Scan Editor＞

③ EPSON Server Scan Agent でサーバスキャン設定

EPSON Server Scan Agent を使用して、サーバスキャンの設定を行います。

→ 69 ページ参照

ソフトウェアのインストール

EPSON Server Scan Agent のインストール

ServerScan PC として利用する PC に、EPSON Server Scan Agent をインストールします。

ポイント

EPSON Server Scan Agent は、同一ネットワーク上の複数台の PC にインストールしないでください。

1 ServerScan PC として利用する PC を起動します。

PC の OS が WindowsNT/2000/XP の場合は、管理者の権限でログオンしておいてください。

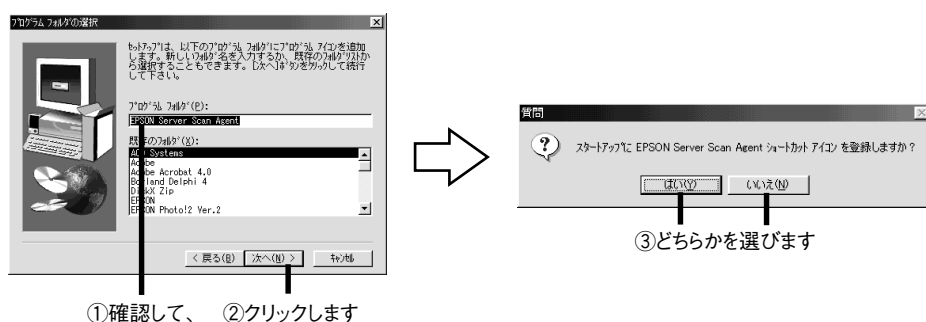
2 コンピュータに、本製品に付属のソフトウェア CD-ROM をセットします。

しばらくすると次の画面が自動的に表示されますので、［EPSON Server Scan Agent のインストール］をダブルクリックします（右の画面が自動的に表示されない場合は、［マイコンピュータ］内の CD-ROM アイコンをダブルクリックします）。

3 最初に左の画面が表示されるので、① 次へ ボタンをクリックします。右の画面が表示されたら、②インストール先のフォルダを確認し、よければ③ 次へ ボタンをクリックします。

通常は、インストール先のフォルダを変更する必要はありません。

左の画面が表示されます。①登録するプログラムフォルダを確認し、よければ② 次へ ボタンをクリックします。右の画面が表示されたら、③どちらかを選びます。

- 通常は、プログラムフォルダを変更する必要はありません。
- 右の画面で はい を選ぶと、EPSON Server Scan Agent が Windows のスタートアップに登録されます。そのため、ServerScan PC（Windows）を起動するとEPSON Server Scan Agent も自動的に起動し、常時サーバスキャンを利用できる状態になります。

5

次の画面が表示されたら、完了 ボタンをクリックします。

［インストールウィザード終了後、プログラムを起動し設定を行う］をチェックしておくと、完了 ボタンクリック後にEPSON Server Scan Agentが起動します。

これでインストールは終了です。
引き続き、クライアントPC に EPSON Scan Editor をインストールします。

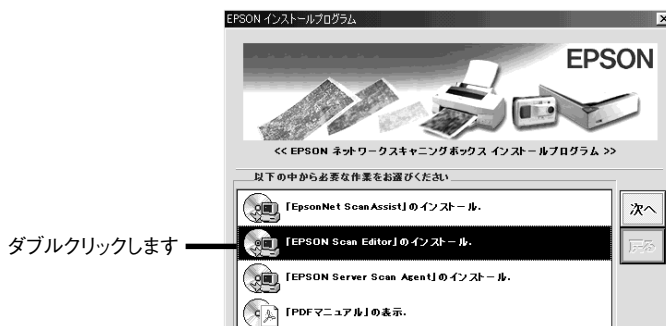
EPSON Scan Editor のインストール

クライアントPCに、プロファイル作成用のソフトウェア［EPSON Scan Editor］をインストールします。

- プロファイルは、サーバスキャンを利用するユーザーそれぞれの意図によって作り分けるものです。そのため、このソフトウェアはサーバスキャンを利用するすべてのユーザーのPCにインストールしてください。
- Windows NT4.0/2000/XPにEPSON Scan Editorをインストールする場合は、Administratorの権限が必要です。ただし、Administratorが1度インストールした後は、他のユーザーもEPSON Scan Editorを使用することができます。
- 旧バージョンのEPSON Scan Editorがインストールされている場合は、インストールの途中にメッセージが出て終了します。その場合は、旧バージョンのEPSON Scan Editorをアンインストールしてから、再度インストールしてください。

クライアントPCを起動し、本製品に付属のソフトウェアCD-ROMをセットします。

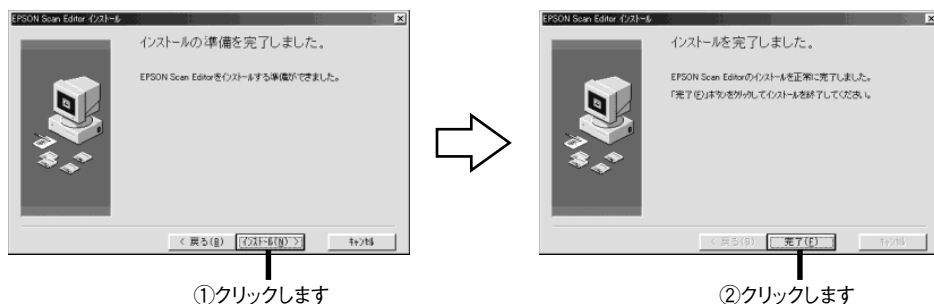
しばらくすると次の画面が自動的に表示されますので、[EPSON Scan Editorのインストール]をダブルクリックします（次の画面が自動的に表示されない場合は、[マイコンピュータ］内のCD-ROMアイコンをダブルクリックします）。

❷

最初に左の画面が表示されるので、① 次へ ボタンをクリックします。右の画面が表示されたら、②インストール先のディレクトリを確認し、よければ③ 次へ ボタンをクリックします。

通常は、インストール先ディレクトリを変更する必要はありません。

❸

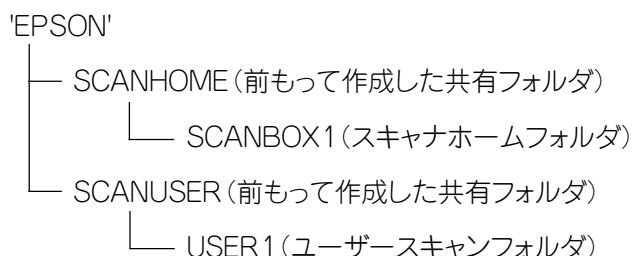
左の画面が表示されたら、① インストール ボタンをクリックします。インストールがはじまります。

右の画面が表示されたら、② 完了 ボタンをクリックしてください。

これでインストールは終了です。
引き続き、サーバスキャンの新規設定を行います。

サーバスキャンの新規設定

サーバスキャンの設定は、ネットワーク管理者の方が行うことをお勧めします。ネットワーク管理者がいない場合は、コンピュータ（Windows）の扱いに慣れた方が行うことを強くお勧めします。

以降では、次のケースを例に説明します。

ファイルサーバ名　　　　　　：EPSON
スキャナホームフォルダパス　：EPSON¥SCANHOME¥SCANBOX1
ユーザースキャンフォルダパス：EPSON¥SCANUSER¥USER1

設定前の確認事項

設定において、ESNSB2 の IP アドレスを入力する必要があります。ESNSB2 の IP アドレスを確認しておいてください（ネットワーク管理者にお問い合わせください）。IP アドレスとは、ネットワーク上で機器を識別するための識別子のことです。詳しくは 133 ページをご覧ください。

スキャナと ESNSB2 の準備

EPSON Server Scan Agent の設定時、ESNSB2 と通信して接続テストを行います。そのため、まずスキャナ／ESNSB2 側で次の準備をしておいてください。

スキャナの電源をオンにします。

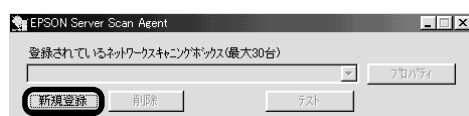
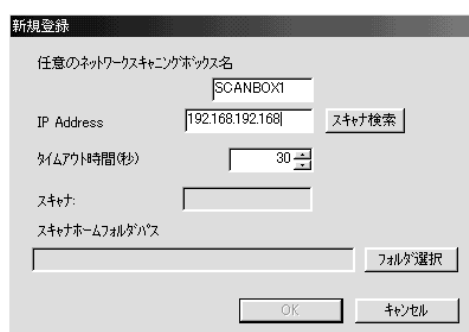
スキャナの電源をオンにすると、ESNSB2 の電源も連動してオンになります。

他の人がEPSON TWAIN xx Networkでスキャナを使用している間は、EPSON Server Scan Agent での設定が行えませんのでご注意ください。

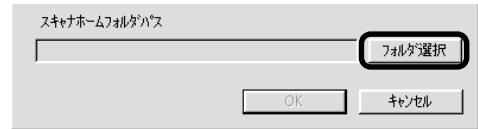
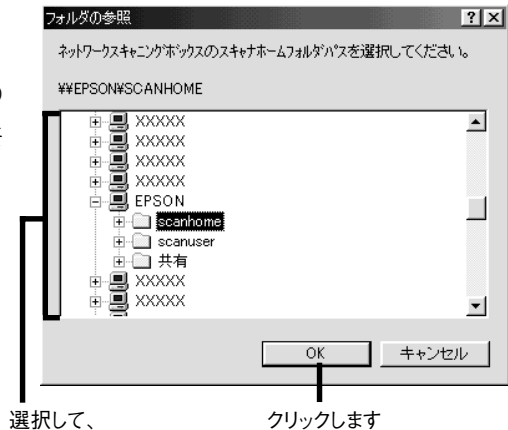
EPSON Server Scan Agentの設定

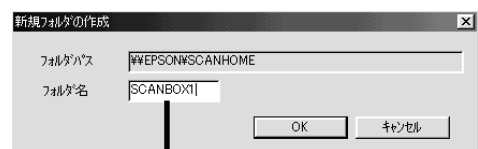
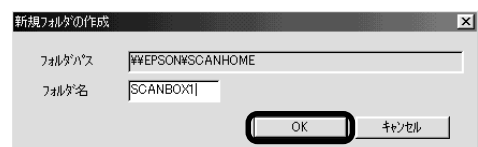
ServerScan PCとファイルサーバが異なる場合で、ファイルサーバの電源がオフになっている場合は、オンにしておいてください。

❷ EPSON Server Scan Agentを起動します。

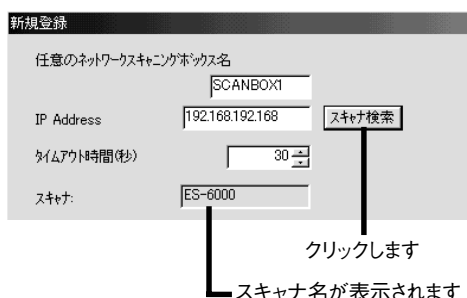
❸ 新規登録 ボタンをクリックします。

❹ 下表を参照し、各項目を設定します。

設定項目	説明
任意のネットワークスキャニングボックス名	任意の名称を、半角英数8文字以内で入力します。ESNSB2（スキャナ）1台につき、1つの名称を設定してください。 画面は、SCANBOX1と入力した例です。
IP Address	ESNSB2のIPアドレスを、ピリオド（.）を含めて入力します。1桁または2桁の数値が含まれる場合は、192.168.1.22のように入力してください。 画面は、192.168.192.168と入力した例です。 間違えてカンマ（,）を入力しないようご注意ください。
タイムアウト時間	通常は30秒のままにしておいてください。 ❺で［スキャナ検索］ボタンを押した時にタイムアウトエラーが発生する場合のみ、設定を変更します。30秒から300秒の間で設定します。 変更する場合、必要な時間はお使いのネットワーク環境や時間帯などによって異なります。15秒ずつくらいの間隔で時間を長くしていき、タイムアウトエラーが出なくなる時間を見つけてください。
スキャナホームフォルダパス	ESNSB2（スキャナ）1台につき、1つのフォルダを作成します。詳細は次ページをご覧ください。

スキャナホームフォルダの作成方法

1. フォルダ選択 ボタンをクリックします。

2. サーバ／共有フォルダを選択し、OK ボタンをクリックします。
画面は、EPSON という名称のサーバの、SCANHOMEという共有フォルダを指定した例です。

半角英数9文字以上または全角文字で名称が設定されているサーバ／共有フォルダは選択しないでください。

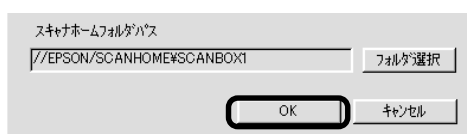
3. 右の画面が表示されます。2で指定した共有フォルダの下層に作成するフォルダ名を、半角英数８文字以内で入力します。
画面は、SCANHOMEフォルダの下に、SCANBOX1というフォルダを作成する例です。この場合、SCANBOX1と入力します。

4. OK ボタンをクリックします。

5

ESNSB2（スキャナ）との接続を確認します。スキャナ検索 ボタンをクリックします。

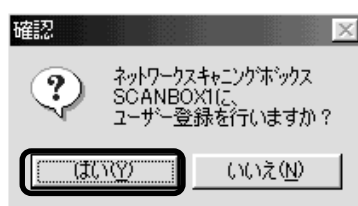
［スキャナ］項目に、ESNSB2に接続されているスキャナ名が表示されれば正常です。

スキャナ名が表示されずに、エラーメッセージが表示された場合は、さまざまな原因が考えられます。108ページを参照して対処してください。

6

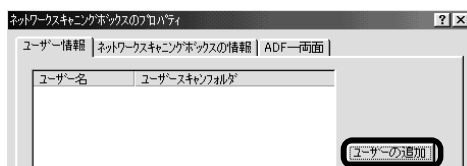
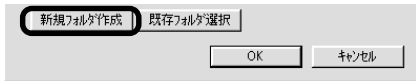
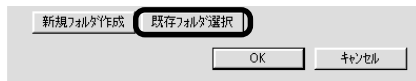
OK ボタンをクリックします。

なお、全項目を入力した上で、スキャナ検索に成功しないと、OK ボタンは有効になりません。

7

右の画面が表示されます。はい ボタンをクリックします。

引き続き、サーバスキャンを利用するユーザーを登録します。

ユーザーの登録

8

ユーザーの追加 ボタンをクリックします。

9

ユーザー名と、ユーザースキャンフォルダパスを設定します。

詳細は次ページをご覧ください。

設定項目	説明
ユーザー名	サーバスキャンを利用するユーザー名を、半角英数カナ15文字以内で入力します。 ユーザーはスキャナ1台につき30人まで登録可能です。 前ページの画面は、USER1と入力した例です。 サーバスキャン実行時、コピーユニットのパネル上でユーザー名を選択します。ここで入力するユーザー名がその時に表示されますので、 ・例えば山田さん用のユーザー名はYAMADAにするなど、ユーザーが自分用のユーザー名であることを理解しやすい名称にしてください。 ・入力した名称をメモしておき、各ユーザーに名称を知らせておいてください。
ユーザースキャンフォルダパス	ユーザースキャンフォルダを作成または選択します。フォルダはユーザーごとに分けてください。ただし、複数のスキャナに同じユーザーを登録する場合は、同じフォルダを指定することもできます。 この後、各ユーザーがプロファイル（取り込み設定ファイル）を作成する際に、ユーザースキャンフォルダを指定する必要があります。（以降の説明例では、EPSONという名称のサーバの、¥SCANUSER¥USER1フォルダを指定する必要があります） また、サーバスキャンしたデータは、ユーザースキャンフォルダに保存されます。そのため、 ・ユーザーごとにフォルダを分ける場合は、例えば山田さん用のフォルダ名はYAMADAにするなど、ユーザーが自分用のフォルダであることを理解しやすい名称にしてください。 ・サーバ名／フォルダ名を53ページ（Windows）または62ページ（NetWare）にメモしておき、各ユーザーに知らせておいてください。

ユーザースキャンフォルダの作成方法

※新規設定の際はこちらを選んでください。	※次の場合はこちらを選んでください。 ・作成済みのユーザースキャンフォルダを他のユーザーも共有する場合 ・ESPER-STATIONのサーバスキャン用ユーザースキャンフォルダと共有する場合
前もって作成した共有フォルダの下層に、新規フォルダを作成する場合	既存の共有フォルダを選択する場合
1. 新規フォルダ作成 ボタンをクリックします。 新規ﾌｫﾙﾀﾞ作成 既存ﾌｫﾙﾀﾞ選択 OK ｷｬﾝｾﾙ → 次ページに続く	1. 既存フォルダ選択 ボタンをクリックします。 新規ﾌｫﾙﾀﾞ作成 既存ﾌｫﾙﾀﾞ選択 OK ｷｬﾝｾﾙ → 次ページに続く

前もって作成した共有フォルダの下層に、新規フォルダを作成する場合

2. サーバ／共有フォルダを選択し、OK ボタンをクリックします。
   画面は、EPSONという名称のサーバの、SCANUSER という共有フォルダを指定した例です。

選択して、　クリックします

半角英数 9 文字以上または全角文字で名称が設定されているサーバ／共有フォルダは選択しないでください。

3. 次の画面が表示されます。2 で指定した共有フォルダの下層に作成するフォルダ名を、半角英数8文字以内で入力します。

新規フォルダ名を入力します

   画面は、SCANUSER フォルダの下に、USER 1 というフォルダを作成する例です。この場合、USER 1 と入力します。

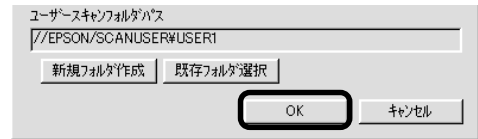
4. OK ボタンをクリックします。

既存の共有フォルダを選択する場合

2. サーバ／共有フォルダを選択し、OK ボタンをクリックします。
   画面は、EPSON という名称のサーバの、SCANUSER¥USER 1という共有フォルダを指定した例です。

選択して、　クリックします

この時に次の画面が表示された場合は、ユーザースキャンフォルダの選択が間違っています。再度ユーザースキャンフォルダを確認し、選択し直してください。

3. OK ボタンをクリックします。

OK ボタンをクリックします。

⑪

右の画面が表示されます。

- 複数のユーザーを登録する場合は、72ページの⑧～⑩ の手順を繰り返します。
- サーバスキャン実行時、コピーユニットのパネル上でユーザー名を選択しますが、この画面の一番上に表示されるユーザー名が、最初にパネル表示されます。そのため、頻繁に利用するユーザーの表示位置を上にしておくことをお勧めします。表示位置を変えたいユーザー名をクリックし、上へ または 下へ ボタンをクリックして表示位置を変えてください。
- オプションのオートドキュメントフィーダ（ESA3ADF2）を使用して原稿の両面を取り込む場合は、［ADF - 両面］タブをクリックし、両面取り込み時の設定を確認します。 詳しくは 77 ページをご覧ください。
- 設定を終了する場合は、OK ボタンをクリックします。

最初の画面に戻ります。

これでサーバスキャンの新規設定は終了です。

サーバスキャン実行時は、EPSON Server Scan Agentを起動しておく必要があります。そのため、EPSON Server Scan Agent は終了せず、このままの状態にしておいてください。なお､最小化ボタンをクリックして最小化しておいても構いません。

最小化すると､タスクバーのアイコントレイにアイコン表示されます。
ダイアログボックス表示させるには､アイコンをダブルクリックします。
なお､最小化した状態で起動させることもできます。詳しくは79ページをご覧ください。

ADF での両面取り込み時の設定

［ADF － 両面］画面の設定は、スキャナにオプションのオートドキュメントフィーダ（ESA3ADF2）を装着していて、A4 以下の原稿の両面（表面と裏面）を取り込む場合に有効です。
ESA3ADF2 から原稿の両面を取り込む場合、原稿をセットする向きによっては、裏面が 180°回転した状態で取り込まれます。この画面の設定を有効にすると、180°回転して取り込まれた裏面の画像を、正しい向きに回転します。

次の場合は、この画面の設定は無効です。

- スキャナに ESA3ADF2 を装着していない場合
- 原稿の片面を取り込む場合
- A4 より大きなサイズの原稿を取り込む場合

ESA3ADF2が正しく接続されていても、この画面がグレー表示されている場合は、次のように対処してください。

① ［ネットワークスキャニングボックスの情報］タブをクリックします。
② スキャナ検索 ボタンをクリックし、スキャナを認識させます。
③ 変更 ボタンをクリックします。これで ESA3ADF2 が認識され、［ADF －両面］画面が有効になります。

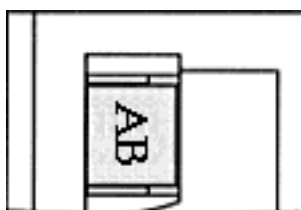
設定手順

①以降の説明を参照して設定し、変更 ボタンをクリックします。
② OK ボタンをクリックし、76 ページの⓬に進みます。

A4 以下の原稿で、裏面の向きを表面に合わせる

このチェックボックスをチェックし、かつ、原稿を次ページの図の方向でセットすると、両面取り込み時、画像を正しい向きにそろえます。原稿サイズが A4 以下の場合に有効です。
なお、この機能を有効にすると回転処理を行うため、取り込みに時間がかかります。

原稿のセット方向

この機能を有効にした場合、A4 以下の原稿で両面を取り込む場合は、常に下図のようにセットしてください。（片面を取り込む場合も、下図のようにセットすることをお勧めします）

← 給紙方向

取り込み後の画像

チェックしてある場合	1 頁表	1 頁裏	2 頁表	2 頁裏
チェックを外した場合	1 頁表	1 頁裏	2 頁表	2 頁裏

- 回転処理は、取り込んだ画像のデータ容量が大きいほど時間がかかります。
- 回転処理時間は、Server Scan PC の CPU が高速なほど、またメモリ容量が多いほど、短くなります。

任意用紙サイズについて

この後、各クライアントPCで、EPSON Scan Editorを使用してプロファイルを作成します。
プロファイルには原稿サイズの設定が含まれますが、EPSON Scan Editorで設定できる原稿サイズは、A4・A3・B5・B4サイズです。他のサイズの原稿を使用する場合は、Webブラウザで任意用紙サイズを登録してください。詳しくは121ページをご覧ください。
ただし、任意用紙サイズの設定は原稿台から取り込む場合のみ有効です。ADFから取り込む場合は無効ですのでご注意ください。

パスワードの設定について

ESNSB2のネットワーク設定に、パスワードを設定しておくことをお勧めします。パスワードを設定しておくと、他のPC上のEPSON Server Scan Agentから、サーバスキャンの設定を変更されることを防止できます。
パスワードは、EpsonNet ScanAssistまたは、EpsonNet WebAssistから設定します。詳細は37ページまたは128ページをご覧ください。

EPSON Server Scan Agentの起動モードについて

EPSON Server Scan Agentは、初期設定ではダイアログボックスモードで起動しますが、最小化モードで起動させることもできます。
起動モードの切り替え方法は次の通りです。

＜ダイアログボックスモードでの切替方法＞

クリックして左に✓マークを付けると最小化モード、再度クリックして✓マークを外すとダイアログボックスモードに戻ります。切り替えは次回の起動から有効になります。

＜最小化モードでの切替方法＞

クリックして左に✓マークを付けると最小化モード、再度クリックして✓マークを外すとダイアログボックスモードに戻ります。切り替えは次回の起動から有効になります。

スキャンログについて

サーバスキャンを実行すると、EPSON Server Scan Agnet のインストールフォルダにログファイル（Scan.log）が作成されます。このログファイルには次の情報が記録されます。
・ユーザ名
・スキャン日時
・スキャン枚数

- インストール時の初期設定では、EPSON Server Scan Agent は次のフォルダにインストールされます。
  C:¥ Program Files¥ EPSON Server Scan Agent
  ただし、インストール時に別のフォルダを指定した場合は、ログファイルもそのフォルダに作成されます。
- ログファイルは、最大 約 1MB です。最大サイズに達した場合は、古い記録から削除されます。

ログファイルの確認方法

Scan.log は、メモ帳などのテキスト編集ソフトまたは、Microsoft Excel などのデータベースで読み込むことができます。各項目は、「ユーザ名，スキャン日時，スキャン枚数」のように、カンマで区切って記録されています。

例：User1,2002/08/27 10:21 ,1
User2,2002/08/27 13:26 ,3
User5,2002/08/27 16:33 ,10

Microsoft Excel などのデータベースで読み込む場合は、カンマで区切られたデータとして読み込んでください。

サーバスキャンの設定変更と削除

スキャナやファイルサーバの変更によって設定を変更したり、削除する場合の操作手順を説明します。

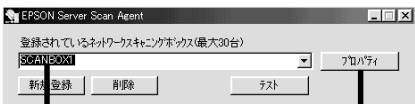
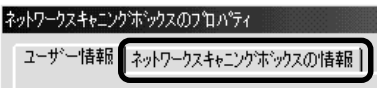
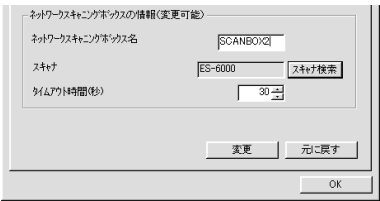
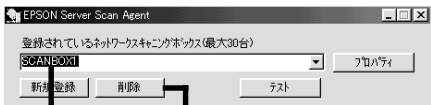
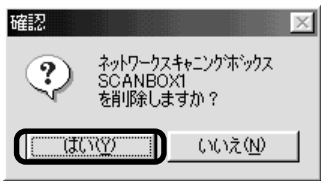
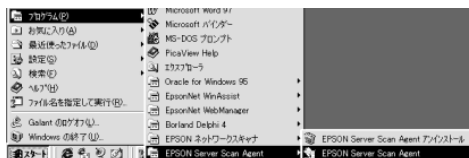
ESNSB2 の準備と EPSON Server Scan Agent の起動

1 **スキャナの電源をオンにします。**

スキャナの電源をオンにすると、ESNSB2 の電源も連動してオンになります。

ポイント

> 他の人がEPSON TWAIN xx Networkでスキャナを使用している間は、EPSON Server Scan Agent での設定が行えませんのでご注意ください。

2 **ServerScan PCとファイルサーバが異なる場合で、ファイルサーバの電源がオフになっている場合は、オンにしておきます。**

3 **EPSON Server Scan Agent を起動します。**

ネットワークスキャニングボックスの情報変更と削除

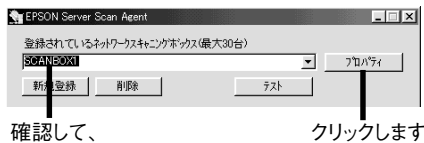
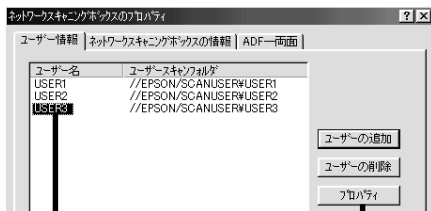
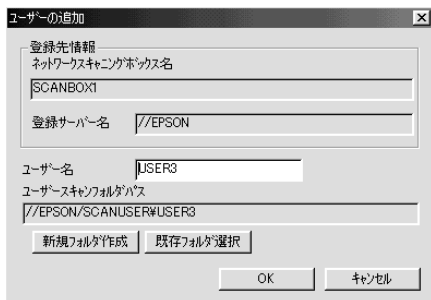
設定変更できる項目	設定を変更するには、現在の設定を削除して登録し直す必要のある項目
・スキャナ ・ネットワークスキャニングボックス名 ・タイムアウト時間 ・ADF 両面取り込みの設定	・スキャナホームフォルダパス （フォルダ自体が削除されます） ・ESNSB2 の IP アドレス

設定変更の仕方	削除の仕方
1. ［登録されているネットワークスキャニングボックス］リストに、設定変更したいネットワークスキャニングボックス名が表示されていることを確認し、プロパティ ボタンをクリックします。 2. ［ネットワークスキャニングボックスの情報］タブをクリックします。 3. ネットワークスキャニングボックス名またはタイムアウト時間を変更し、変更 ボタンをクリックします。 接続するスキャナを変更した場合は、スキャナ検索 ボタンをクリックします。接続されているスキャナ名が表示されたら、変更 ボタンをクリックします。 各項目の詳細については、70ページをご覧ください。 変更した設定を元に戻したい場合は、元に戻す ボタンをクリックしてください。 4. ADF両面取り込みの設定を変更する場合は、［ADF－両面］タブをクリックします。［ADF－両面］画面については、77ページをご覧ください。 5. OK ボタンをクリックすると、1の画面に戻ります。これで設定変更は終了です。	1. ［登録されているネットワークスキャニングボックス］リストに、削除したいネットワークスキャニングボックス名が表示されていることを確認し、削除 ボタンをクリックします。 2. 確認画面が表示されます。よければ はい ボタンをクリックします。 削除を中止する場合は、いいえ ボタンをクリックしてください。 3. 1の画面に戻ります。これで削除は終了です。 設定を登録し直す場合は、引き続き、新規登録 ボタンをクリックして設定を新規登録してください。詳しくは69ページをご覧ください。

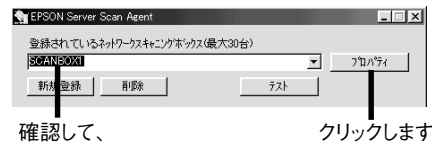
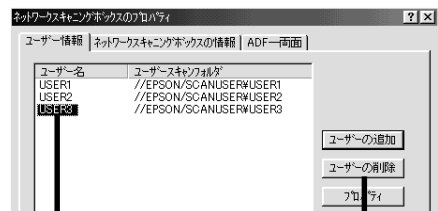
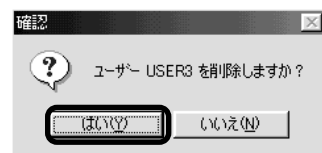
ユーザー情報の変更と削除

ユーザー情報は、ユーザー名・ユーザー名の表示順・ユーザースキャンフォルダパスいずれも、設定変更および削除ができます（フォルダ自体は削除されません）。

設定変更の仕方

1. ［登録されているネットワークスキャニングボックス］リストに、設定変更したいユーザーが登録されているネットワークスキャニングボックス名が表示されていることを確認し、プロパティ ボタンをクリックします。

2. 設定を変更するユーザー名を選択し、プロパティ ボタンをクリックします。

3. ユーザー名またはユーザースキャンフォルダパスを変更し、OK ボタンをクリックします。
各項目の詳細については、73ページをご覧ください。

→ 次ページに続く

削除の仕方

1. ［登録されているネットワークスキャニングボックス］リストに、削除したいユーザーが登録されているネットワークスキャニングボックス名が表示されていることを確認し、プロパティ ボタンをクリックします。

2. 削除するユーザー名を選択し、ユーザーの削除 ボタンをクリックします。

3. 確認画面が表示されます。よければ はい ボタンをクリックします。

削除を中止する場合は、いいえ ボタンをクリックしてください。

→ 次ページに続く

<table>
<tr><th>設定変更の仕方</th><th>削除の仕方</th></tr>
<tr><td colspan="2">

4. 次の画面に戻ります。OK ボタンをクリックしてください。
   サーバスキャン実行時、コピーユニットのパネル上でユーザー名を選択しますが、この画面の一番上に表示されるユーザー名が、最初にパネル表示されます。そのため、頻繁に利用するユーザーの表示位置を上にしておくことをお勧めします。表示位置を変えたいユーザー名をクリックし、上へ または 下へ ボタンをクリックして表示位置を変えてください。

5. 最初の画面に戻ります。これで設定変更／削除は終了です。

</td></tr>
</table>

サーバスキャンの仕方

ここでは、サーバスキャンの手順を説明しています。

プロファイルの作成

まずクライアントPCで、EPSON Scan Editorを使用してプロファイルを作成します。プロファイルとは、原稿サイズ･色数･解像度などの取り込み設定や、保存先のフォルダ･ファイル形式などを記述しておくファイルのことです。
サーバスキャンでは、EPSON Scan Editorで作成したプロファイルの内容に従って画像の取り込み･保存が実行されます。

作成前の確認事項

確認事項	確認方法
ユーザースキャンフォルダパス	EPSON Server Scan Agentを使用してサーバスキャンの設定を行った方に確認してください。
ファイルサーバの電源がオンになっているか	

プロファイルの作成

1. EPSON Scan Editorを起動します。

2. まず、ユーザースキャンフォルダを指定します。 参照 ボタンをクリックします。

3. ユーザースキャンフォルダを指定し、OKボタンをクリックします。

画面は、EPSONという名称のサーバの、SCANUSER¥USER1フォルダを指定した例です。

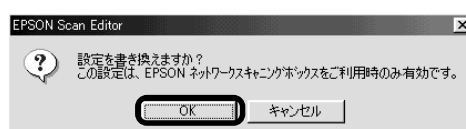
この時に右の画面が表示された場合は、ユーザースキャンフォルダの指定が間違っています。再度ユーザーススキャンフォルダを確認し、指定し直してください。

画像フォーマットをリストから選びます(下表参照)。

ポイント

画像フォーマットは、1ユーザーにつき1つのフォーマットのみ選択できます。2つのフォーマットを混在させることはできません。

画像フォーマット	説明
サーバスキャンフォーマット	独自の画像フォーマットです（ESPER-STATION のサーバスキャンと同じフォーマットです）。 独自フォーマットのため、ファイルを開く時はこのフォーマットに対応したアプリケーションを使用します。詳細は102 ページで説明しています。
汎用フォーマット	❽ の設定に従い、汎用的な TIFF または JPEG 形式で保存されます。TIFF または JPEG 形式に対応している市販のアプリケーションで開くことができます。 サーバスキャン機能に対応したアプリケーションをお持ちでない場合は、汎用フォーマットを選択してください。

画像フォーマットを変更すると右の画面が表示されますので、OK ボタンをクリックしてください。

お使いのスキャナをリストから選びます。

ポイント

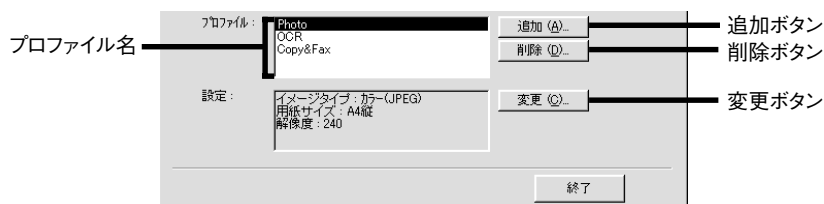
- ES-6000H/ES-6000HS をお使いの場合は、ES-6000 を選んでください。
- お使いの機種名がない場合は、[ES-A3スキャナ(ES-8000/6000は除く)] を選んでください。

プロファイルを作成します。

プロファイルは、次の 3 種類の設定があらかじめ用意されています。

設定項目 ＼ プロファイル名	Photo	OCR	Copy & Fax
イメージタイプ	カラー（JPEG）	白黒 OCR 用	白黒ハーフトーン
用紙サイズ	A4 縦	A4 縦	A4 縦
解像度	240dpi	300dpi	200dpi

イメージタイプ・用紙サイズ・解像度は、サーバスキャン実行時も設定可能です。そのため、プロファイルは作成しなくても構いません。しかし文書の電子ファイル化など、特定の用途があれば、その用途に適した設定のプロファイルを作成しておくと便利です。

- プロファイルを新規作成する場合は、追加 ボタンをクリックして❼に進んでください。
- あらかじめ用意されている設定を変更する場合は、変更したいプロファイル名を選択し、変更 ボタンをクリックして❽に進んでください。
- 登録できるプロファイルは4つまでです。プロファイルを2つ以上追加登録したい場合は、どれかのプロファイルを削除してください。削除するには、削除したいプロファイル名を選択し、削除 ボタンをクリックします。削除の確認画面が表示されますので、はい ボタンをクリックしてください。
  キャンセル ボタンをクリックすると、削除を中止します。

プロファイル名を、半角英数カナ15文字以内で入力します。

既存のプロファイルを設定変更する場合、プロファイル名は修正できません（グレー表示されます）。

入力します（画面は例です）

ポイント

サーバスキャンを実行する時に、ここで入力したプロファイル名をコピーユニットのパネル上で選択します。そのため、プロファイル名は覚えておいてください。

下表を参照し、イメージタイプ（取り込む画像の色数の設定）をリストから選びます。

リストから選びます

イメージタイプ名	ファイル形式	説明
カラー（36）（ES-8000のみ）	TIFF	687億色（36bit）のカラーで取り込みます。データ容量が多くなるため、通常は選択しないでください。
カラー（JPEG）	JPEG	1,677万色（24bit）のカラーで取り込みます。カラー原稿の場合、この設定で十分な画質が得られます。カラー写真は非圧縮形式のため、データ容量が多くなります。
カラー写真	TIFF	
グレイスケール	TIFF	256階調で、白黒写真のように取り込みます。グレイスケールは非圧縮形式のため、データ容量が多くなります。
グレイ（JPEG）	JPEG	
白黒線画	TIFF*	図面や線画を取り込む場合に選択します。白黒2値（白か黒）のデータで取り込みます。
白黒OCR用	TIFF*	文字原稿を取り込む場合に選択します。白黒2値（白か黒）のデータで取り込みます。背景色は除去して文字のみ抽出します。
白黒ハーフトーン	TIFF	文字と画像が混在している原稿を取り込む場合に選択します。文字は白黒2値、画像部分は疑似中間調処理をして取り込みます。コピーやFAX送信用画像の取り込みにお使いください。

* ❹でサーバスキャンフォーマットを選択した場合はG3圧縮、汎用フォーマットを選択した場合はG4圧縮されます。

保存されるファイル形式は、イメージタイプの設定によって決まります。

- カラー（JPEG）／グレイ（JPEG）の場合
  JPEG形式で圧縮して保存されます。画質は多少劣化しますが、データ容量が小さくなり、ファイルサーバのハードディスク使用量を節約できます。
  画質がそれほど重要でない場合は、JPEG 形式にすることをお勧めします。
- そのほかのイメージタイプの場合
  TIFF 形式で保存されます。JPEG形式と比較するとデータ容量が大きくなりますが、画質は劣化しません。

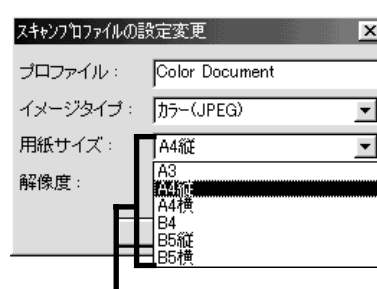
ADF から複数枚連続で取り込む場合、❹および❽での選択によって、作成されるファイルが次のように異なります。

<table>
<tr><th>❹での選択</th><th>❽で選択した
ファイル形式</th><th>ファイル</th></tr>
<tr><td rowspan="2">サーバスキャン
フォーマット</td><td>TIFF</td><td rowspan="2">全ページ（最大 200 枚）が 1 つのファイルとして取り込まれます。
1 2 3 4
このファイルを開くには、サーバスキャン機能に対応したアプリケーションが必要です。詳しくは 102 ページをご覧ください。</td></tr>
<tr><td>JPEG</td></tr>
<tr><td rowspan="2">汎用フォーマット</td><td>TIFF</td><td>全ページ（最大 200 枚）が 1 つのファイルとして取り込まれます（マルチページ TIFF 形式）。
1 2 3 4
このファイルを開くには、マルチページ TIFF 形式に対応したアプリケーションが必要です。</td></tr>
<tr><td>JPEG</td><td>1 ページが 1 つのファイルとして取り込まれます。
1 2 3 4</td></tr>
</table>

保存されるファイルの拡張子は次のようになります。なお、❹でサーバスキャンフォーマットを選択した場合は、❽の選択によらず、独自の画像フォーマットになります。

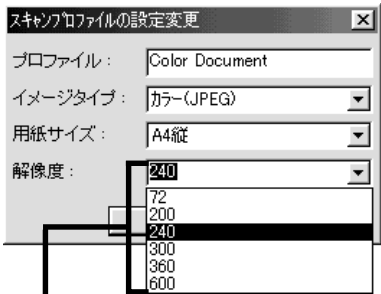
❹での選択	❽で選択したファイル形式	拡張子
サーバスキャンフォーマット	TIFF	000
	JPEG	000
汎用フォーマット	TIFF	tif
	JPEG	jpg

用紙サイズを選びます。

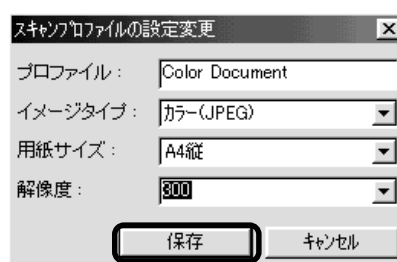
用紙サイズは、スキャナの機種によって選択肢が異なります。
スキャナにA4またはB5サイズの原稿をセットする場合は、下表を参照して選択してください。

ポイント

- サーバスキャンを実行する時は、ここで設定した向きで原稿をセットしてください。
- リストに表示されないサイズの原稿を取り込む場合は、Webブラウザで任意用紙サイズを登録してください。詳しくは 121 ページをご覧ください。
  ただし、任意用紙サイズの設定は原稿台から取り込む場合のみ有効です。ADF から取り込む場合は無効ですのでご注意ください。

リストから解像度を選びます（下表参照）。

解像度が高いほどデータ容量が増え、ファイルサーバのハードディスク空き容量が減ります。そのため、取り込む画像の用途に合わせて、適切に設定してください。

解像度設定の目安は次の通りです。リストに希望の数値がない場合は、その数値を入力してください。入力できる範囲は50～1200dpiですが、不必要に高い数値を入力しないでください。

解像度	用途
72dpi	壁紙などのディスプレイ表示用画像や、ホームページ用画像を取り込む場合に選んでください。
200dpi	次の場合に選んでください。 ・写真を取り込み、EPSONカラーインクジェットプリンタでファイン印刷する場合 ・レーザープリンタで印刷する場合 ・FAX送信用画像を取り込む場合
300dpi	次の場合に選んでください。 ・写真を取り込み、EPSON カラーインクジェットプリンタでフォト／スーパーファイン印刷する場合 ・文字原稿を取り込んで OCR（光学文字認識）にかける場合 ・図面や線で描いたイラストを取り込む場合（標準の画質で良い場合）
360dpi	白黒の線画を取り込み、EPSONカラーインクジェットプリンタでファイン印刷する場合に選んでください。
600dpi	図面や線で描いたイラストを取り込む場合（詳細な画質が必要な場合）に選んでください。
720dpi	白黒の線画を取り込み、EPSONカラーインクジェットプリンタでフォト／スーパーファイン印刷する場合に選んでください。スキャナによっては表示されません。
800dpi	拡大印刷する場合に選んでください。スキャナによっては表示されません。

保存 ボタンをクリックし、設定を保存します。

12

右の画面に戻ります。

- 複数のプロファイルを登録する場合は、4～11の手順を繰り返します。
- プロファイルの作成を終了する場合は、 終了 ボタンをクリックし、EPSON Scan Editorを終了します。

ESPER-STATION をお持ちの方へ

お持ちのESPER-STATIONがサーバスキャン機能を備えている場合、EPSON Scan EditorでESPER-STATIONのサーバスキャン用プロファイル（操作パネルのプリセットボタンを押した時に表示されるユーザーパラメータ）を作成することができます。
ただし、画像フォーマットの指定は無効です。ESPER-STATIONのサーバスキャンでは、サーバスキャンフォーマット固定になります。

サーバスキャンの仕方

サーバスキャン実行前の確認事項

サーバスキャンをはじめる前に、次のことを確認しておいてください。

確認事項	確認方法
自分用のユーザー名	EPSON Server Scan Agent を使用してサーバスキャンの設定を行った方に確認してください。
これから取り込みに使用するプロファイル名	あなたが EPSON Scan Editor で設定したプロファイル名／セット方向です。 忘れてしまった場合は、EPSON Scan Editor を起動して確認してください。 ただし、原稿のセット方向は、サーバスキャン実行時にも指定可能です。
スキャナに A4 または B5 サイズの原稿をセットする場合は、セットする方向	
EPSON Scan Editor のリストに表示されないサイズの原稿を取り込む場合、Web ブラウザで任意用紙サイズを登録してあるか	Web ブラウザを起動して確認してください。詳しくは 121 ページをご覧ください。

ご注意

ESNSB2 のランプが次のように点滅している時は、他のユーザーが EPSON TWAIN xx Network（スキャナ）を使用しています。

ランプ	Ready	Network	Error
状態	規則的に点滅 （1 秒間ずつ点灯・消灯）	不規則に点滅 （データ送受信中の状態）	消灯

この時はサーバスキャンを実行できませんので、EPSON TWAIN xx Network が終了され、Ready ランプの点滅が点灯に変わるまでお待ちください。

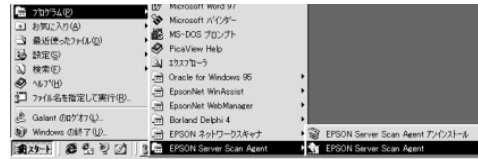
サーバスキャンの実行

スキャナ／ESNSB2 の準備

スキャナの電源がオフになっている場合は、オンにします。

スキャナの電源をオンにすると、ESNSB2 の電源も連動してオンになります。

ファイルサーバと ServerScan PC の準備

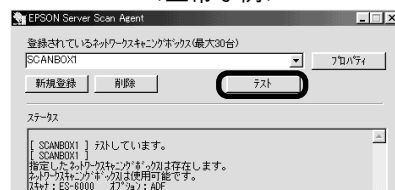
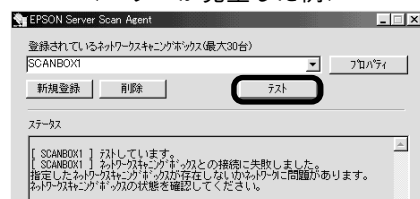
2 ファイルサーバの電源がオンになっていることを確認し、ServerScan PC で EPSON Server Scan Agentを起動します。

EPSON Server Scan Agent のインストール時、[スタートアップに EPSON Server Scan Agentショートカットアイコンを登録する]ように設定した場合は、ServerScan PC を起動すると EPSON Server Scan Agent も自動的に起動します。この場合、

- 上の画面の手順で起動する必要はありません。
- 下の画面が表示されていない場合は、最小化（タスクバー表示）されていないか確認してください（76ページ参照）。

右の画面が表示されます。EPSON Server Scan Agentは、起動したままにしておいてください。

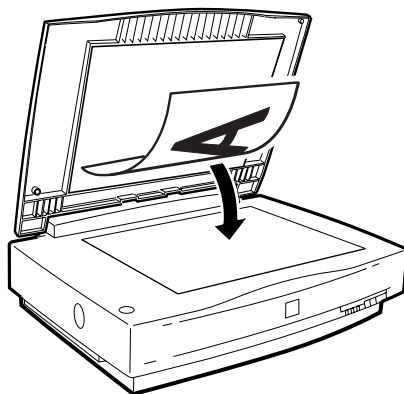
EPSON Server Scan Agent の接続テスト機能について

EPSON Server Scan Agentの テスト ボタンをクリックすると、ネットワークスキャニングボックス（ESNSB2）の接続テストを行い、［ステータス］項目にテスト結果が表示されます。サーバスキャン実行前に、接続をテストしておくことをお勧めします。

＜正常な例＞

＜エラーが発生した例＞

この場合は、108ページを参照して対処してください。

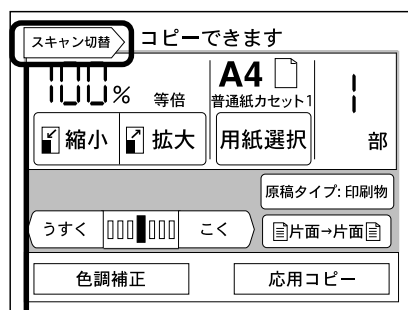
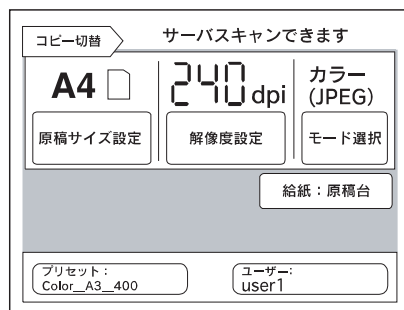
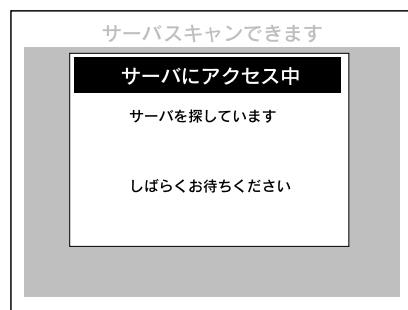
原稿のセット

スキャナに原稿をセットします。

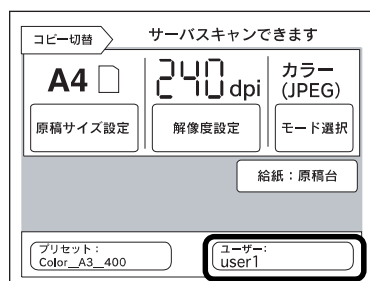
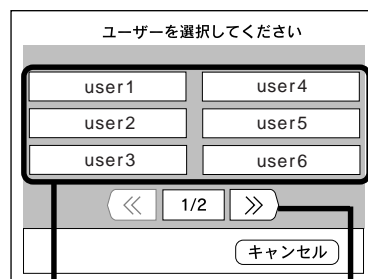
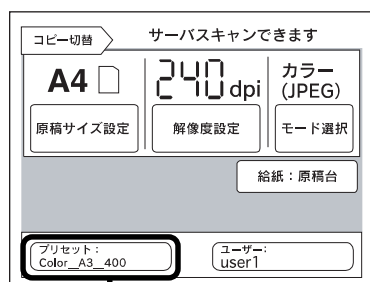
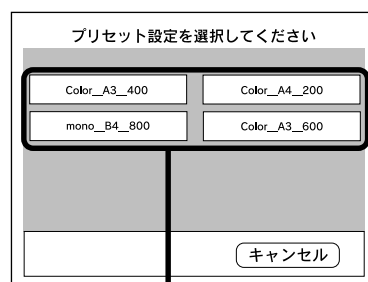
A4 または B5 サイズの原稿をセットする場合は、プロファイル作成時に設定した方向でセットしてください。ただし、原稿のセット方向は、この後にも指定可能です。
図はES-6000HSの例です。セット方法の詳細は、お使いのスキャナに付属の取扱説明書をご覧ください。

サーバスキャンの実行

コピーユニットの スキャン切替 ボタンを押します。

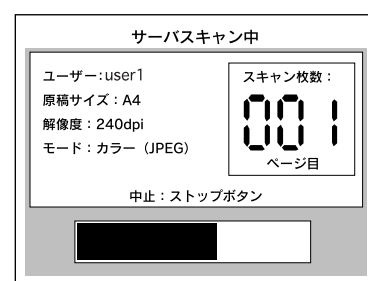
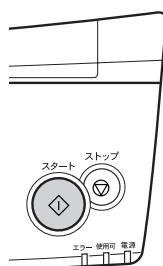
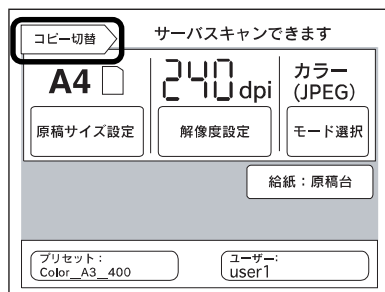
コピーユニットが、ESNSB2とServerScan PCが利用可能な状態か確認します。［サーバスキャンできます］と表示されたら、正常です。

ポイント

右上の画面が表示されずに、エラーメッセージが表示された場合は、109ページを参照して対処してください。

5 ユーザー： ボタンを押します。ユーザー名の一覧が表示されますので、自分用のユーザー名を選択します。

自分用のユーザー名は、EPSON Server Scan Agent でサーバスキャンの設定を行った方に確認してください。

6 プリセット： ボタンを押します。EPSON Scan Editor で登録済みのプロファイル名が表示されますので、取り込みに使用するプロファイルを選択します。

- EPSON Scan Editorで登録したプロファイルが表示されない場合は、110ページを参照して対処してください。
- 原稿サイズ、解像度、モード（色数）、給紙方法は、必要に応じて、一時的に設定を変更することができます。
  これらの設定を変更して取り込む場合は、99ページをご覧ください。

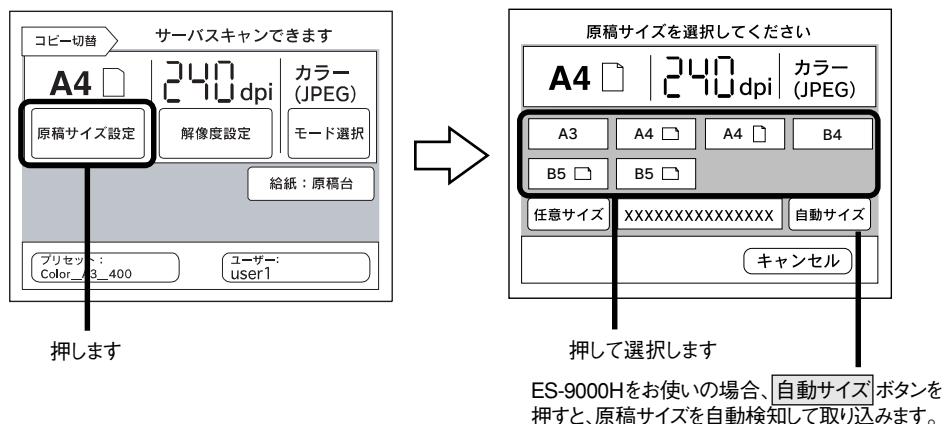
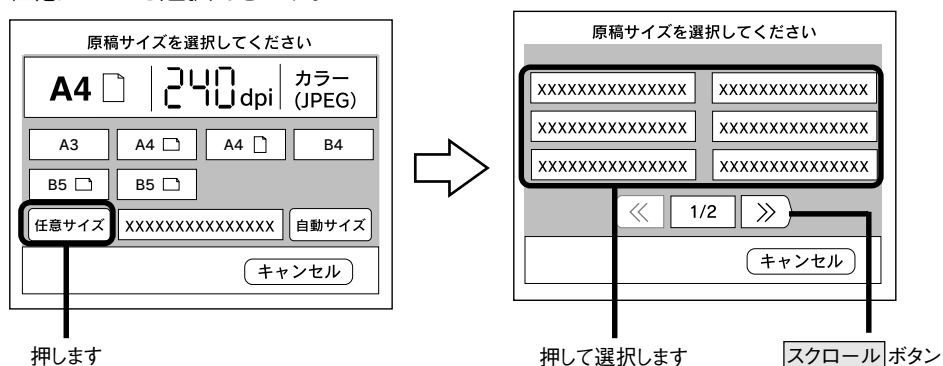
7 スタート ボタンを押してサーバスキャンを実行します。

右の画面が表示され、取り込まれた画像がサーバに保存されます。

次の画面が表示されたら、取り込み終了です。コピーモードに戻すには、コピー切替 ボタンを押します。

ポイント

コピーユニットの操作パネル上ではサーバスキャンが終了したように見えても、ユーザースキャンフォルダに実際に画像が保存されるまで、しばらく時間がかかります。解像度が高いほど、時間がかかりますのでご注意ください。

一時的に設定を変更する方法

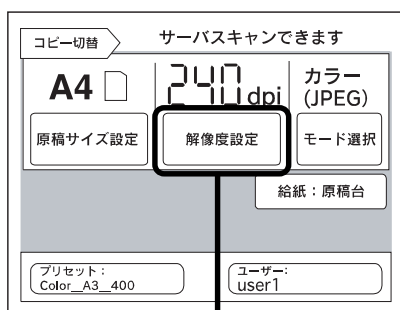
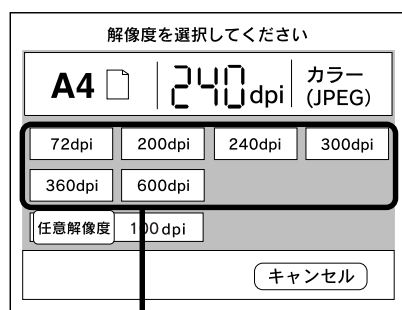
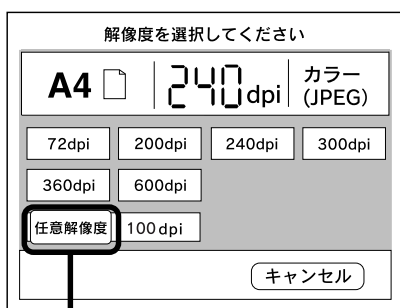
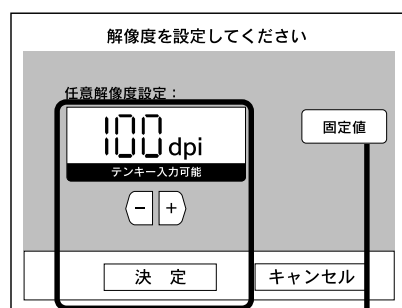
原稿サイズの変更

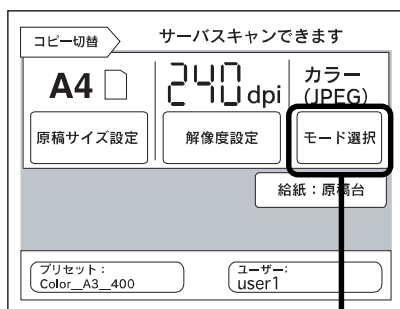
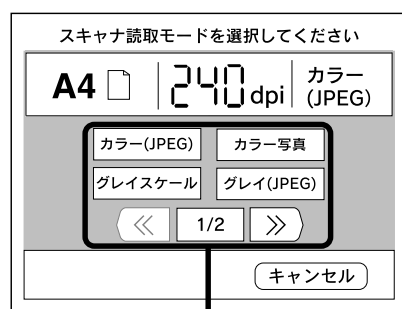
原稿サイズ設定 ボタンを押し、スキャナにセットした原稿のサイズと向きが一致するボタンを押します。

Webブラウザで任意用紙サイズを登録している場合は、任意サイズ ボタンを押すと、任意サイズを選択できます。

ただし、任意サイズの設定は原稿台から取り込む場合のみ有効です。 ADF から取り込む場合は無効ですのでご注意ください。なお、縦横の向きについては、126ページの表をご覧ください。

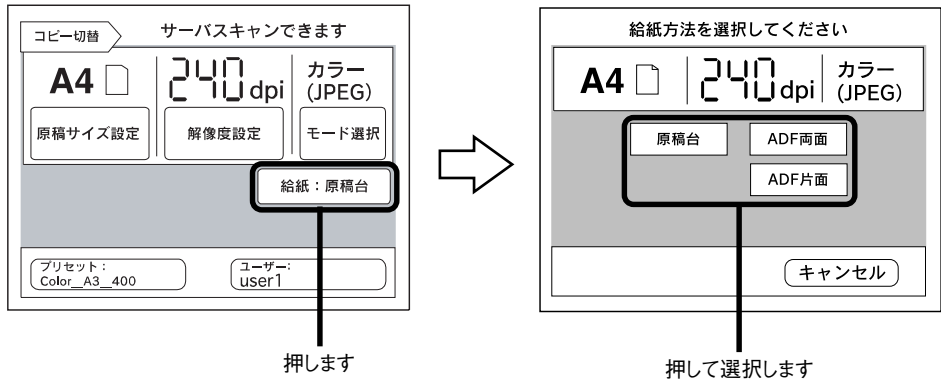
解像度の変更

解像度設定 ボタンを押し、解像度を選択します。

ポイント

解像度を変更する場合は、92 ページの表を参照の上、適切に設定してください。

任意解像度 ボタンを押すと、任意の解像度をテンキーで入力できます。

モード（色数）の変更

モード選択 ボタンを押し、モード（色数）を選択します。モードについては、89 ページのイメージタイプの表をご覧ください。

給紙方法の変更

給紙： ボタンを押し、給紙方法を選択します。

- 給紙方法は、スキャナにオプションのADFを装着している場合のみ、変更することができます。
- ADF を装着していても、 ADF 両面 および ADF 片面 ボタンがグレー表示される場合は、110 ページを参照して対処してください。

サーバスキャンしたデータの開き方

汎用フォーマットの画像を開く場合

汎用フォーマットでスキャンした画像は、TIFF または JPEG 形式に対応している市販のアプリケーションで開くことができます。ただし、ADF から TIFF 形式で連続取り込みした場合は、マルチページTIFF 形式に対応しているアプリケーションが必要です。
サーバスキャンした画像は、ユーザースキャンフォルダの中の［Scanwri］フォルダに保存されています。

サーバスキャンフォーマットの画像を開く場合

サーバスキャンフォーマットでスキャンした画像は、特殊なファイル形式で保存されます。そのため、この画像を開く時は、サーバスキャン機能に対応したアプリケーションを使用してください。
サーバスキャンした画像は、ユーザースキャンフォルダの中の［Scanwri］フォルダに保存されています。
サーバスキャン機能対応アプリケーションについては、エプソンのホームページをご覧いただくか、またはエプソンインフォメーションセンターにお問い合わせください。
ホームページのアドレスは次の通りです。
　http://www.i-love-epson.co.jp/guide/scanner/index.htm

インフォメーションセンターの連絡先については、裏表紙をご覧ください。

EPSON ScanPalette について

スキャナに、TWAIN 対応アプリケーション［EPSON ScanPalette］が付属している場合、このアプリケーションでサーバスキャンフォーマットおよび、マルチページTIFF 形式の画像を開くことができます。

EPSON ScanPalette では、ファイルサーバ上のフォルダ（ユーザースキャンフォルダ）へのショートカットを作成することができますので、スキャンした画像に素早くアクセスすることができ便利です。
EPSON ScanPalette の詳細については、EPSON ScanPalette の取扱説明書をご覧ください。

困ったときは

ここでは、困ったときの対処方法を説明しています。

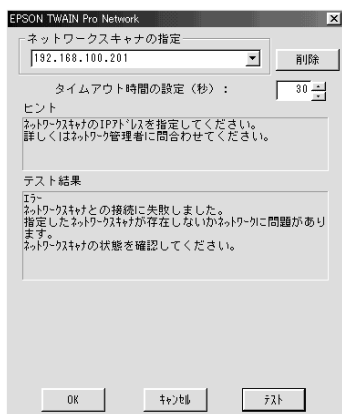
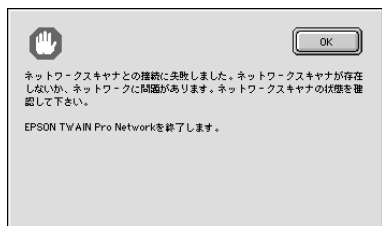
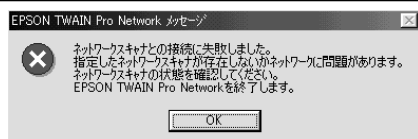
トラブルが発生したら

現在の症状がどれに当てはまるかを次の中から選び、それぞれの参照先をご覧ください。

ESNSB2 本体のトラブル

ESNSB2 のErrorランプが点灯する、ESNSB2 がネットワークで認識されないなどの対処方法を説明しています。

→ 106 ページ

EPSON TWAIN xx Network のトラブル

EPSON TWAIN xx Networkインストール後の接続設定でエラーが出る、またEPSON TWAIN xx Networkの起動時や使用時にエラーが出る場合の対処方法を説明しています。

→スキャナに付属のネットワークガイド「困ったときは」

※ ネットワークガイドに、スキャナサーバまたはEPSON Scan Serverという言葉がある場合は、ESNSB2と読み替えてください。

サーバスキャンのトラブル	
EPSON Server Scan Agent 登録されているﾈｯﾄﾜｰｸｽｷｬﾆﾝｸﾞﾎﾞｯｸｽ(最大30台) SCANBOX1 ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ 新規登録 削除 ﾃｽﾄ ｽﾃｰﾀｽ [SCANBOX1] ﾃｽﾄしています。 [SCANBOX1] ﾈｯﾄﾜｰｸｽｷｬﾆﾝｸﾞﾎﾞｯｸｽとの接続に失敗しました。 指定したﾈｯﾄﾜｰｸｽｷｬﾆﾝｸﾞﾎﾞｯｸｽが存在しないかﾈｯﾄﾜｰｸに問題があります。 ﾈｯﾄﾜｰｸｽｷｬﾆﾝｸﾞﾎﾞｯｸｽの状態を確認してください。 確認 ﾈｯﾄﾜｰｸｽｷｬﾆﾝｸﾞﾎﾞｯｸｽとの接続に失敗しました。 指定したﾈｯﾄﾜｰｸｽｷｬﾆﾝｸﾞﾎﾞｯｸｽが存在しないかﾈｯﾄﾜｰｸに問題があります。 ﾈｯﾄﾜｰｸｽｷｬﾆﾝｸﾞﾎﾞｯｸｽの状態を確認してください。 OK EPSON Scan Editor Aprofile.iniファイルが見つかりませんでした。 OK	EPSON Server Scan AgentやEPSON Scan Editorでの設定時にエラーが出るなどの対処方法を説明しています。 → 108ページ

次の場合は、スキャナに付属の取扱説明書をご覧ください。

- 取り込んだ画像の品質上のトラブル(取り込んだ画像が暗い、色がおかしい、斑点のような模様が生じるなど)
- オプション使用時のトラブル(透過原稿ユニットから取り込んだ画像がおかしい、ADFでの紙詰まりなど)

⚠注意

次のような場合は故障と思われますので、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店またはエプソンの修理窓口にご連絡ください。

- ESNSB2が極端に発熱する(非常に温度が高い)、ケースに変形が起こる
- 変な臭いや音がする、煙が出る
- ESNSB2のErrorランプが消灯しない

内部には高圧回路があるため、絶対に分解しないでください。

ESNSB2 本体のトラブル

ランプ表示

■：点灯　　☀：点滅　　□：消灯

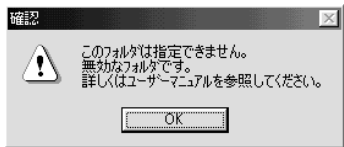
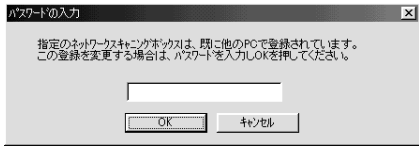
点滅の下の数値「x,y」は、点灯 x 秒、消灯 y 秒の繰り返しであることを表します。
例）0.5,0.5 は、点灯 0.5 秒、消灯 0.5 秒です。

ランプ表示			対処
Ready ■	Network □	Error □	次のことを確認してください。 ① ESNSB2 と HUB に、ネットワークケーブルがしっかり接続されているか ② ESNSB2 のネットワーク設定が正しく行われているか（34 ページ参照） ③ HUB が正常に動作しているか ④ ネットワークケーブルが断線していないか
Ready ☀ 0.5,0.5	Network ☀ 0.5,0.5	Error ■	スキャナが接続されていません。EPSON ES シリーズのスキャナを、付属の SCSI ケーブルでしっかり接続してください。
Ready ☀ 1,1	Network ☀ 不規則	Error ☀ 1,1	スキャナでエラーが発生しています。スキャナの取扱説明書を参照し、エラーの原因を取り除いてください。
Ready □	Network ☀ 1,3	Error ■	ネットワーク上の他の機器と、IP アドレスが重複しています。他の機器と重複しない値に設定してください。
Ready □	Network ☀ 1,1（3 秒おきに 2 回点滅）	Error ■	IP アドレスが不正です（すべて 0 または 255 になっています）。正しい値に設定してください。

AC アダプタを接続しても電源が入らない

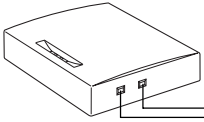
①スキャナの電源をオンにしてください。ESNSB2 の電源も連動してオンになります。
②SCSI ケーブルがしっかり接続されているか確認してください。

ESNSB2 がネットワークで認識されない

内容	対処
・EpsonNet ScanAssistのリストに表示されない ・EPSON TWAIN xx Network の接続テストでエラーが出る ・EPSON TWAIN xx Network の起動時にエラーが出る ・EPSON Server Scan Agent の接続テストでエラーが出る ・ping コマンドでタイムアウトになる ・EpsonNet WebAssist を起動できない	次のことを確認してください。 ① スキャナの電源がオンになっているか ② SCSI ケーブルがしっかり接続されているか ③ ESNSB2、HUB、PC それぞれに、ネットワークケーブルがしっかり接続されているか ④ PC 側で、ESNSB2 の IP アドレスを間違って入力していないか ⑤ ESNSB2 および PC で、ネットワーク設定が正しく行われているか、IPアドレスが初期値以外に設定されているか（34 ページ参照） ⑥ HUB が正常に動作しているか ⑦ ネットワークケーブルが断線していないか

漏洩電流について

多数の電子機器を接続している環境下では、本機に触れた際に電気を感じることがあります。
このような時には、本機を接続している機器などからアース（接地）を取ることをお勧めします。

サーバスキャンのトラブル

サーバスキャン設定時のエラー

<table>
<tr><th>内容</th><th>対処</th></tr>
<tr><td>EPSON Server Scan Agent の［スキャナ検索］ボタンまたは［テスト］ボタンを押した時にエラーが出る

</td><td>次のことを確認してください。
① スキャナの電源がオンになっているか
② SCSI ケーブルがしっかり接続されているか
③ ESNSB2、HUB、ServerScan PC それぞれに、ネットワークケーブルがしっかり接続されているか
④ EPSON Server Scan Agent で、ESNSB2 の IP アドレスを間違って入力していないか（70 ページ参照）
⑤ ESNSB2およびServerScan PCで、ネットワーク設定が正しく行われているか
（34 ページ参照）
⑥ HUBが正常に動作しているか
⑦ ネットワークケーブルが断線していないか</td></tr>
<tr><td>スキャナホームフォルダまたは、ユーザースキャンフォルダの指定時にエラーが出る

</td><td>スキャナホームフォルダ作成時：
他のネットワークスキャナ用のスキャナホームフォルダは指定できません。他のフォルダを指定してください。
ユーザスキャンフォルダ選択時：
ユーザースキャンフォルダの指定が間違っています。フォルダを確認し、指定し直してください。</td></tr>
<tr><td>EPSON Server Scan Agentの［スキャナ選択］ボタンを押した時に、パスワード入力画面が出る

</td><td>他のPC上の EPSON Server Scan Agentで、既にサーバスキャンの設定がされており、設定を続けると他のPCの設定が上書きされます。
上書きしてよければ、パスワードを入力して OK ボタンをクリックしてください。パスワードは、EpsonNet ScanAssistおよび、EpsonNet WebAssistのパスワードと同じです（37ページまたは128ページ参照）。
上書きしない場合は、キャンセル ボタンをクリックして設定を中止してください。</td></tr>
</table>

プロファイル作成時のエラー

<table>
<tr><th>エラーメッセージ</th><th>対処</th></tr>
<tr><td>Aprofile.ini ファイルが見つかりませんでした。
EPSON Scan Editor
Aprofile.iniファイルが見つかりませんでした。
OK</td><td>① ユーザースキャンフォルダの指定が間違っています。EPSON Server Scan Agent でサーバスキャンの設定を行った方にユーザースキャンフォルダを確認し、指定し直してください。
② サーバスキャンの設定がされていません。69 ページを参照して設定してください。</td></tr>
</table>

サーバスキャン実行時のトラブル

コピーユニットに表示されるエラーメッセージ

コピーユニットパネル表示	対処
スキャンボックスエラー発生 通信エラー スキャンボックスのエラー解除後 ストップボタンを押してください	次のことを確認してください。 ① スキャナの電源がオンになっているか ② SCSIケーブルとACアダプタがしっかり接続されているか ③ 赤外線ポートが異物などで塞がっていないか 赤外線ポート
スキャンボックスエラー発生 サーバが見つかりません ストップボタンを押してください	次のことを確認してください。 ① ファイルサーバおよび、ServerScan PC の電源がオンになっているか（ログオンしているか） ② ServerScan PC で、EPSON Server Scan Agent が起動されているか（95 ページ参照） ③ ファイルサーバ・ServerScan PC ・ESNSB2 ・HUB それぞれに、ネットワークケーブルがしっかり接続されているか ④ ファイルサーバ・ServerScan PC ・ESNSB2 それぞれで、ネットワーク設定が正しく行われているか（33 ページ参照） ⑤ HUB が正常に動作しているか ⑥ ネットワークケーブルが断線していないか
スキャンボックスエラー発生 ユーザーが見つかりません ストップボタンを押してください	EPSON Server Scan Agent で、ユーザーが正しく登録されているか確認してください（69 ページ参照）。
スキャンボックスエラー発生 プリセットが見つかりません ストップボタンを押してください	EPSON Scan Editor で、プロファイルが正しく登録されているか確認してください（86 ページ参照）。
スキャンボックスエラー発生 サーバのディスク容量不足です ストップボタンを押してください スキャンボックスエラー発生 スキャナフェータルエラー ストップボタンを押してください	ファイルサーバのハードディスク空き容量（仮想記憶領域）が不足しているため、画像を保存できません。 解像度を下げてファイルサイズを小さくするか、ファイルサーバのハードディスク空き容量（仮想記憶領域）を増やしてください。目安として、カラー・A3 ・600dpi で 210MB 以上、カラー・A3 ・1200dpi で 840MB 以上の空き容量が必要です。
スキャンボックスエラー発生 サーバのメモリが不足しています ストップボタンを押してください	ファイルサーバのメモリ容量が不足しているため、画像を保存できません。 解像度を下げてファイルサイズを小さくするか、ファイルサーバのメモリを増やしてください。
スキャンボックスエラー発生 ネットワークエラー ストップボタンを押してください	スキャナの電源を入れ直して再試行してください。 それでもエラーが発生する場合は、次のことを確認してください。 ① ネットワークが混雑していないか ② ESNSB2 の IP アドレスが、他のネットワーク機器と重複していないか
スキャンボックスエラー発生 ファイルが作成できません ストップボタンを押してください	ServerScan PC が、ユーザースキャンフォルダに書き込む権限がありません。書き込み権限を設定してください。
スキャンボックスエラー発生 混みあっています ストップボタンを押してください	ServerScan PC に、既に 5 台のネットワークスキャニングボックスが接続しています。ServerScan PC に同時接続できるのは 5 台までですので、他のネットワークスキャニングボックスでサーバスキャンが終了するまでお待ちいただき、再試行してください（再試行は自動では行われません）。

プリセット選択画面に、作成したプロファイルが表示されない

EPSON Scan Editorで作成したプロファイルが、コピーユニットのプリセット選択画面に表示されない場合は、EPSON Scan Editor でのスキャナの選択が間違っています。正しいスキャナを選択してください（88 ページ参照）。

ポイント

- ES-6000H/ES-6000HS をお使いの場合は、ES-6000 を選んでください。
- お使いの機種名がない場合は、［ES-A3スキャナ（ES-8000/6000は除く）］を選んでください。

ADF を装着していても、給紙方法の選択画面で ADF xx を選択できない

スキャナを変更すると、ADF からスキャンできなくなる場合があります。スキャナを変更した場合は、EPSON Server Scan Agent でスキャナを選択し直してください（81 ページ参照）。

ADF で両面をサーバスキャンしても、裏面の画像が 180 度回転しない

この場合は、次のことを確認してください。

①EPSON Server Scan Agent の［ADF ー両面］画面が有効になっているか
無効（グレー表示）になっている場合は、次のように対処してください。
・ADF が正しく接続されていることを確認してください。
・EPSON Server Scan Agent で、スキャナを選択し直してください（81 ページ参照）。

②EPSON Server Scan Agent の［ADF ー両面］画面で、［A4 以下の原稿で、裏面の向きを表面に合わせる］がチェックされているか（77 ページ参照）

③スキャナや ADF を変更していないか
スキャナや ADF を変更すると、ADF を誤認識する場合があります。この場合は、EPSON Server Scan Agentでスキャナを選択し直してください（81ページ参照）。

サーバスキャンが終わっても、サーバ上に画像ができていない

高解像度でスキャンした画像は、作成に時間がかかります。そのため、しばらく時間をおいてから再度画像にアクセスしてください。

なお、画像作成の時間は、スキャンの解像度やServerScan PCの性能に左右されますので、以下の対応で早くなる場合があります。

①スキャンの解像度を下げる
② ServerScan PC のメモリを増設する（例：128MB → 512MB 以上）

また、EPSON Server Scan Agent が混雑している場合（同時にスキャンしている人がいる場合や、他の人が高解像度でスキャンしている場合など）は、スキャンした画像の作成に時間がかかる場合があります。

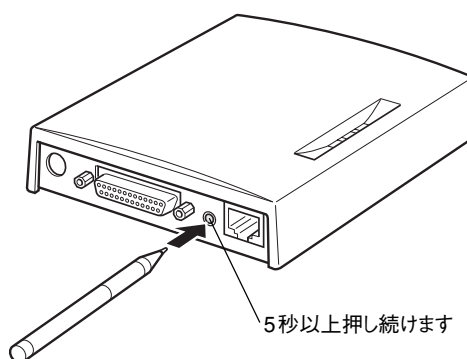
パスワードを忘れた時の対処方法

EpsonNet ScanAssist/EpsonNet WebAssist/EPSON Server Scan Agentのパスワードを忘れてしまった場合は、ESNSB2を工場出荷時設定に戻す必要があります。

工場出荷時設定への戻し方

1. **スキャナの電源をオフにします。**

2. **RESET スイッチを押し続けながら、スキャナの電源をオンにします。**

   RESET スイッチは、5 秒以上押し続けてください。

3. **5秒以上経過したら、RESET スイッチから指を離してください。**

   これで工場出荷時設定に戻りました。

4. **ネットワーク設定をやり直す必要がありますので、33ページを参照して設定してください。**

ソフトウェアの再インストール

何らかの原因でソフトウェアの動作が不安定になっている場合は、次の手順で再インストールしてください。

ソフトウェアの削除

ソフトウェアを再インストールする前に、現在インストールされているソフトウェアを、アンインストールプログラムを使用して削除（アンインストール）してください。

- EPSON TWAIN xx Networkの再インストール方法については、スキャナに付属のネットワークガイドをご覧ください。
- EPSON Scan Editor を削除すると、EPSON Scan Editor でのユーザースキャンフォルダの設定は削除されます（フォルダ自体は削除されません）。

Windows の場合

Windows NT/2000/XP の場合は、管理者の権限でログオンしておいてください。

アンインストーラを起動します。

EPSON Server Scan Agent を削除する場合：
［スタート］－［プログラム］－［EPSON Server Scan Agent］－［EPSON Server Scan Agent アンインストール］の順にクリックします。

EPSON Scan Editor を削除する場合：
［スタート］－［プログラム］－［EPSON Scan Editor］－［EPSON Scan Editor アンインストール］の順にクリックします。

EpsonNet ScanAssist を削除する場合：
①［スタート］ボタンー［設定］－［コントロールパネル］の順にクリックします。
②［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。
③リストからEpsonNet ScanAssistを選択して、追加と削除ボタンをクリックします。

この後は、画面の指示に従って削除してください。

削除が終了したら、コンピュータを再起動してソフトウェアを再インストールしてください。

Macintosh の場合

EpsonNet ScanAssistのフォルダまたはアイコンを、ゴミ箱にドラッグしてください。

最新のソフトウェア入手方法

ソフトウェアをバージョンアップする際は、エプソン販売のホームページにより最新版の提供を行う予定です。

ソフトウェアのバージョンアップ時期は未定です。

インターネット

エプソン販売のホームページアドレスは次の通りです。
http://www.i-love-epson.co.jp

インターネット経由でのダウンロード*[1]・解凍*[2]・インストール方法については、ホームページに記載されていますので、そちらをご覧ください。なお、インストールする前に、112 ページを参照して旧バージョンのソフトウェアを削除してください。

*[1] ダウンロード： パソコン通信やインターネット上に登録されているデータを、ネットワーク通信を介して自分のコンピュータに保存することです。
*[2] 解凍： ダウンロードしたファイルは圧縮（複数のファイルをまとめて、データ容量を小さくすること）されています。解凍とは、圧縮されているデータを元のファイルに復元することです。

CD-ROM での郵送

エプソンディスクサービスで承っております。郵便局へ実費をお振り込みいただくと、郵送にてお送りいたします。
申込方法の詳細はエプソンFAX インフォメーションでご確認ください。FAX インフォメーションの番号は裏表紙にあります。

サポートのご案内

エプソンが行っている各種サービス、サポートは次のとおりです。

エプソンFAXインフォメーション

エプソン製品に関する最新情報をファックスでお知らせします。
ファックス付属の電話機（プッシュ回線またはプッシュ音発信可能機種）からおかけください。
ファックス番号は裏表紙にあります。

エプソンインフォメーションセンター

エプソン製品に関するご質問やご相談に電話でお答えします。
電話番号および受付時間については、裏表紙をご覧ください。

インターネットサービス

エプソン製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。
これは次のメリットがあります。

- ソフトウェアをバージョンアップする際は、エプソン販売のホームページによる提供を行う予定です。インターネットからダウンロードすれば、迅速にバージョンアップが行えます。

  ソフトウェアのバージョンアップ時期は未定です。

- エプソン販売のホームページには、FAQ（製品に関するQ&A）が掲載されています。トラブルの際にお役に立ちます。

ホームページのアドレス

エプソン販売　　：http://www.i-love-epson.co.jp

パソコンスクール

スキャナ、デジタルカメラ、プリンタそしてパソコン。
でも分厚い解説本を見たとたん、どうもやる気が失せてしまう。
エプソン・デジタル・カレッジでは、そんなあなたに専任のインストラクターがエプソン製品のさまざまな使用方法を楽しく、わかりやすく、効果的にお教えいたします。もちろん目的やレベルに合わせた受講ができるので、趣味にも仕事にもバッチリ活かせる技術が身につきます。ぜひお気軽にご参加ください。
お問い合わせは本書裏表紙の一覧表をご覧ください。

保守サービスのご案内

故障かな?と思ったときは、慌てずに、まず取扱説明書中の［困ったときは］をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないかを必ずご確認ください。

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。
保証書は、製品の［保証期間］を証明するものです。［お買い上げ年月日］［販売店名］に記入もれがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載もれがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

保守サービスの受け付け窓口

保守サービスのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

■お買い求めいただいた販売店

■エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センター
電話番号および受付時間については、裏表紙の一覧表をご覧ください。

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。使用頻度や使用目的に合せてお選びください。詳細につきましては、お買い求めの販売店、最寄りのエプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センターまでお問い合わせください。

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">種類</th><th rowspan="2">概要</th><th colspan="2">修理代金</th></tr>
<tr><th>保証期間内</th><th>保証期間外</th></tr>
<tr><td rowspan="2">年間保守契約</td><td>出張保守</td><td>・製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。
・修理のつど発生する修理代・部品代*が無償になるため予算化ができて便利です。
・定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。
* 消耗品（インクカートリッジ、トナー、用紙など）は保守対象外となります。</td><td colspan="2">年間一定の保守料金</td></tr>
<tr><td>持込保守</td><td>・製品が故障した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預かりして修理いたします。
・修理のつど発生する修理代・部品代*が無償になるため予算化ができて便利です。
・持込保守契約締結時に【保守契約登録票】を製品に貼付していただきます。
* 消耗品（インクカートリッジ、トナー、用紙など）は保守対象外となります。</td><td colspan="2">年間一定の保守料金</td></tr>
<tr><td colspan="2">スポット出張修理</td><td>・お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出向き、現地で修理を行います。
・故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。</td><td>有償
（出張料のみ）</td><td>出張料
＋技術料
＋部品代
修理完了後、そのつどお支払いください</td></tr>
<tr><td colspan="2">持込／送付修理</td><td>故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預かりして修理いたします。</td><td>無償</td><td>基本料
＋技術料
＋部品代
修理完了品をお届けしたときにお支払いください</td></tr>
<tr><td colspan="2">ドアtoドアサービス</td><td>・指定の運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。
・保証期間外の場合は、ドアtoドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。</td><td>有償（ドアtoドアサービス料金のみ）</td><td>有償（ドアtoドアサービス料金＋修理代）</td></tr>
</table>

付録

ここでは、次の内容について説明しています。

arp コマンドでの IP アドレス設定

Windows（3.1/NT3.51を除く）にTCP/IPが正常に組み込まれている場合は、arpコマンドでIPアドレスを設定することができます。
arpコマンドは、ESNSB2と同じセグメント内のPCでのみ実行できます。

ポイント

- arp コマンドで設定できるのはIPアドレスだけです。サブネットマスクとゲートウェイアドレスは設定できません。
  サブネットマスクとゲートウェイアドレスも設定する場合は、EpsonNet ScanAssist から設定してください（33 ページ参照）。
- ESNSB2 の IP アドレスは、他のネットワーク機器や、既に使用されている IP アドレスと重複しないようにしてください。
- ここでは、ESNSB2 の IP アドレスを 192.168.100.201（プライベートアドレス）に設定する場合を例に説明します。

1 スキャナの電源がオフになっている場合は、オンにします。

スキャナの電源をオンにすると、ESNSB2 の電源も連動してオンになります。

2 arp コマンドを実行する PC で、ゲートウェイアドレスを設定します。

手順については、スキャナに付属のネットワークガイド［TCP/IP 設定］を参考にしてください。

- ゲートウェイになるサーバやルータがある場合に、サーバやルータのアドレスを設定します。
- ゲートウェイがない場合は、arpコマンドを実行するPCのIPアドレスをゲートウェイアドレスとして設定します。
- ゲートウェイアドレスが分からない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

3 ［スタート］－［プログラム］－［MS-DOS プロンプト］の順にクリックし、MS-DOS プロンプトを起動します。

最寄りの動作中PCまたはルータがあれば、それらに対してpingコマンドを実行します。

書式） ping_IP アドレス（_ は半角スペース）

例） IP アドレス 192.168.100.101 の PC がある場合：
＞ping_192.168.100.101

ping コマンドが成功すると、“Reply From 192.168.100.101：bytes=32 Time<10ms TTL=255” というメッセージが表示されます（Timeなどの値は変動します）。

arpコマンドを実行して、ESNSB2に設定するIPアドレスをESNSB2のMACアドレスに関連付けます。

使用するOSによってコマンドの記述が異なります。詳細はお使いのOSの取扱説明書をご覧ください。

- ESNSB2のMACアドレス（000048xxxxxx）は、ESNSB2の底面に貼られているシールで確認できます。
- 工場出荷時のIP アドレスは［192.168.192.168 ］に設定されていますが、製品の仕様上、このアドレスはネットワーク上で使用できません。お使いの環境に合わせ、必ず IP アドレスを入力してください。

書式） arp_-s_ESNSB2 に設定する IP アドレス _ESNSB2 の MAC アドレス
（_ は半角スペース）

例） ＞arp_-s_192.168.100.201_00-00-48-93-00-00（MAC アドレスは例）

このコマンドによりIP アドレスの情報が送られて、ESNSB2がIP アドレスを認識します。

スキャナの電源を一度オフにしてから、再度オンにします。

電源再投入後、設定した IP アドレスが有効になります。

スキャナの電源をオンにしたら、次のコマンドを実行してIPアドレスが正しく設定されたことを確認します。

書式）　ping_ESNSB2 の IP アドレス（_ は半角スペース）

例）　ping_192.168.100.201

ping コマンドが成功すると、“Reply From 192.168.100.201:bytes=32 time<10ms TTL=255” というメッセージが表示されます（Time の値は変動します）。
ここで表示された IP アドレスが 192.168.100.201 であることを確認します。
これで IP アドレス設定は終了です。

Web ブラウザでのネットワーク設定

一度設定したESNSB2のネットワーク設定を変更する場合は、EpsonNet ScanAssistのほかに、Webブラウザからも行うことができます。
また、サーバスキャン時の任意用紙サイズを設定する場合は、Webブラウザから行います。

ポイント

- Web ブラウザからの設定では、ESNSB2 が内蔵しているプログラム［EpsonNet WebAssist］を呼び出します。EpsonNet WebAssist は、ESNSB2 に IP アドレスを設定後、使用可能になります。
- お使いのコンピュータ（Windows または Macintosh）に、Internet Explorer 4.0以降、Netscape Navigator 3.02以降またはNetscape Communicator 4.0 以降の Web ブラウザをインストールしておいてください。
- Webブラウザで、前もってESNSB2のIPアドレスに対してプロキシを使用しない設定にしておいてください。詳しくは 42 ページをご覧ください。
- Web ブラウザでの設定が終了するまで、ESNSB2 の電源をオフにしたり、ネットワークスキャンまたはサーバスキャンを実行しないでください。

1 スキャナの電源がオフになっている場合は、オンにします。

スキャナの電源をオンにすると、ESNSB2 の電源も連動してオンになります。

2 Webブラウザを起動して次の書式で URL を入力し、［Enter］キーを押します。

書式）　http://ESNSB2 の IP アドレス /
例）　http://192.168.100.201/　（IP アドレスは例です）

EpsonNet WebAssist の説明

インデックス　[Home]　[Help]　[レビジョン情報]　[EPSONへ]　[Favorite]

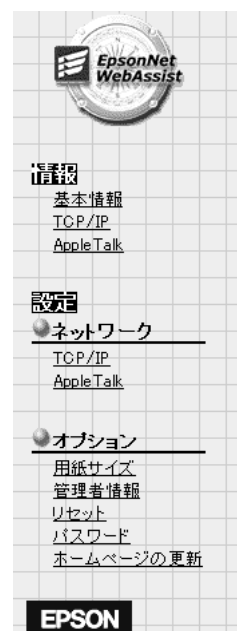
項目	説明
Home	オープニング画面を表示します。
Help	ヘルプを表示します。
レビジョン情報	EpsonNet WebAssist のレビジョン情報を表示します。
EPSON へ	EPSON のホームページ“i love epson”にリンクします。
Favorite	［管理者情報］で設定されたリンク先を表示します。

メニューと設定手順

設定手順：

1. 下表を参照し、これから設定する項目をメニューから選びます（クリックします）。
2. 下表の参照先に従って設定します。
3. ［送信］ボタンをクリックします。

［設定は正常に更新されました!］という画面が表示された場合は、［今すぐリセット］ボタンをクリックしてください。これで設定が有効になります。

［設定は正常に更新されました!］という画面が表示されなかった場合は、設定ーオプションーリセットをクリックし、表示される画面で［リセット］ボタンをクリックします。または、スキャナの電源を再投入してください。

項目		説明	参照先
情報	基本情報	ESNSB2 の基本情報や、スキャナの状態を表示します。	P.123
	TCP/IP	TCP/IP の情報を表示します。	P.124
	AppleTalk	AppleTalk の情報を表示します。	P.125
設定ーネットワーク	TCP/IP	TCP/IP を設定します。	P.124
	AppleTalk	AppleTalk を設定します。	P.125
設定ーオプション	用紙サイズ	サーバスキャン時の任意用紙サイズを設定します。	P.125
	管理者情報	管理者名や、よく使う URL へのリンクを設定します。	P.127
	リセット	ネットワーク設定を有効にします。 また、工場出荷時設定に戻すことができます。	P.127
	パスワード	ネットワーク設定を保護するために、パスワードを設定します。	P.128
	ホームページの更新	EpsonNet WebAssist を更新します。 通常は使用しません。	P.128
EPSON ロゴ		EPSON のホームページ“i love epson”にリンクします。	ー

基本情報

ここでは、ESNSB2 の情報と、スキャナの状態を確認できます。

項目	説明
管理者名	管理者名が設定されている場合に表示されます。
ネットワークスキャニングボックス型番	ESNSB2 と表示されます。
MAC アドレス	ESNSB2 の MAC アドレスが表示されます。
ハードウェアバージョン	ESNSB2 のバージョンが表示されます。
ソフトウェアバージョン	
スキャナモデル名	接続されているスキャナ名が表示されます。
信号	接続されているスキャナの状態が表示されます。 緑：使用可能 黄：使用中 赤：使用不可（エラー発生中） ※スキャナの状態は、自動的には更新されません。現在の状態を知りたい場合は、[ステータス更新]ボタンをクリックしてください。
［ステータス更新］ボタン	最新の情報に更新します。

TCP/IP

設定ーネットワークーTCP/IPの場合：
IPアドレスの取得方法や、各種アドレスを設定できます。

情報ーTCP/IPの場合：
IPアドレスの取得方法や、各種アドレスなどの情報が表示されます。

下表は設定画面の説明です。情報画面では、これらの設定が表示されます。

TCP/IP

IPアドレスの取得方法	Manual
PINGによる設定	ON
IPアドレス	192.168.100.201
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.100.101

送信

項目	説明
IPアドレスの取得方法	IPアドレスの取得方法を選択します。 Manual： この画面またはEpsonNet ScanAssistで、個別に設定する場合に選択します。 RARP/BOOTP/DHCP： RARP/BOOTP/DHCPサーバから自動取得する場合に選択します。これらのサーバがない場合は選択しないでください。また、設定に関してはサーバの取扱説明書をご覧ください。
PINGによる設定	IPアドレスを、ネットワーク上のPCからarp/pingコマンドにより設定する場合は、ONのままにしておきます。 arp/pingコマンドによる設定を不可にしたい場合は、OFFに設定します。
IPアドレス	ESNSB2のIPアドレスを入力します。*ほかのネットワーク機器やPCで既に使用されているアドレスと重複しない値に設定してください。 工場出荷時のIPアドレスは[192.168.192.168]に設定されていますが、製品の仕様上、このアドレスはネットワーク上で使用できません。お使いの環境に合わせ、必ずIPアドレスを入力してください。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。* 初期値は255.255.255.0です。
デフォルトゲートウェイ	ゲートウェイになるサーバやルータがある場合に、サーバやルータのアドレスを入力します。* ゲートウェイがない場合は、初期値(255.255.255.255)のままにしておいてください。
[送信]ボタン	ESNSB2に設定を送信します。

* ピリオド（.）を含めて入力します。1桁または2桁の数値が含まれる場合は、192.168.1.22のように入力してください。
  間違えてカンマ（,）を入力しないようご注意ください。

AppleTalk

設定ーネットワークーAppleTalkの場合:
AppleTalk の使用／不使用を設定できます。

情報ー AppleTalk の場合：
AppleTalk に関する情報が表示されます。

項目	説明
AppleTalk	AppleTalk の使用（Enable）／不使用（Disable）を設定できます。 Disable を選択すると、Macintosh 上から EpsonNet ScanAssist で設定することができなくなります。
ゾーン名	＊と表示されます。
ネットワーク番号設定	Auto 固定です。

用紙サイズ

サーバスキャンで、EPSON Scan Editorのリストに表示されないサイズの原稿を使用する場合は、ここで原稿のサイズを登録します。最大 10 種類登録できます。
ただし、この設定は原稿台から取り込む場合のみ有効です。ADFから取り込む場合は無効ですのでご注意ください。

詳しい説明は次ページにあります。

項目		説明
[有効]チェックボックス		チェックすると、右側の設定が有効になります。
表示名	用紙選択	あらかじめ、L判写真、ハガキおよび名刺のサイズが定義されています。これらを取り込む場合は、ここから選択してください。縦横の向きについては下図をご覧ください。他のサイズを設定する場合は、ユーザ定義を選びます。
	パネル表示	コピーユニットのパネルに表示する用紙名を、半角英数カナ16文字以内で入力します。*
用紙サイズ		下図を参照し、用紙の幅と高さを入力します。*
単位		用紙サイズの単位を、cmまたはインチから選びます。通常はcmのままにしておいてください。
[変更を元に戻す]ボタン		[送信]ボタンを押す前であれば、変更前の状態に戻すことができます。送信した後では元に戻せません。
[送信]ボタン		ESNSB2に設定を送信します。
[用紙サイズを工場出荷時に戻す]ボタン		用紙サイズの設定を、工場出荷時の状態に戻します。

* 用紙選択項目で、写真L x、ハガキ xまたは名刺 xを選択した場合は、自動的に設定されますので入力は不要です。

写真L縦・ハガキ 縦・名刺 縦の向き	写真L横・ハガキ 横・名刺 横の向き

幅　：入力できる範囲は2.0～32.9cmまでですが、スキャナによって（主走査方向の）取り込み領域が異なりますので、スキャナの取扱説明書でご確認ください。

高さ：入力できる範囲は2.0～48.3cmまでですが、スキャナによって（副走査方向の）取り込み領域が異なりますので、スキャナの取扱説明書でご確認ください。

管理者情報

ESNSB2の管理者名を設定できます。また、よく使う任意のURLを設定すると、インデックスの［Favorite（名前は変更可能）］からリンクすることができます。
パスワードを設定した場合は、パスワードの入力が必要です。

項目	説明
管理者名	ESNSB2の管理者名を、半角英数128文字以内または全角64文字以内で入力します。
お気に入り名	リンク先名称を、半角英数20文字以内または全角10文字以内で入力します。
お気に入りURL	リンク先のURLを半角英数64文字以内で入力します。ftp:へのリンクはできません。
説明	リンク先の説明を、半角英数64文字以内または全角32文字以内で入力します。入力した内容は、本画面でのみ表示されます。
［送信］ボタン	ESNSB2に設定を送信します。

リセットと工場出荷時設定

ネットワーク設定を有効にします。また、工場出荷時設定に戻すことができます。
終了のメッセージが表示されたら､更新は終了です。

ネットワークスキャンボックスの
リセットと工場出荷時設定

注意！

ネットワークスキャンボックスをリセットしようとしています
続けてもよろしいですか？

項目	説明
［リセット］ボタン	ネットワーク設定を有効にします。各設定の終了画面で［今すぐリセット］をクリックするか、スキャナの電源を再投入した場合は、ここでのリセットは不要です。
［工場出荷時設定］ボタン	すべてのネットワーク設定を工場出荷時設定に戻します。ボタンをクリックした時点で工場出荷時設定に戻りますのでご注意ください。

パスワード

ネットワーク設定を保護するための、パスワードを設定できます。ここで設定したパスワードは、設定画面を開く時や、設定を保存する時に使います。
工場出荷時、パスワードは何も設定されていません。

パスワード

旧パスワード
新パスワード
パスワードの再入力
送信

項目	説明	
旧パスワード	旧パスワードを入力します。	半角英数20文字以内で入力します。大文字・小文字が区別されます。入力中の文字列（パスワード）は、＊で表示されます。
新パスワード	新パスワードを入力します。	
パスワードの再入力	新パスワードを再入力します。	
［送信］ボタン	ESNSB2に設定を送信します。	

パスワードを忘れてしまった場合は、ESNSB2を手動で工場出荷時設定に戻す必要がありますのでご注意ください。
工場出荷時設定に戻す方法は、111ページで説明しています。

ホームページの更新

通常、ここでの設定は不要です。

ホームページの更新

注意！

ホームページを更新しようとしています
続けてもよろしいですか？

ファイル名: 参照...
更新

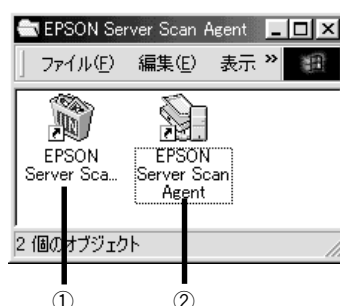
項目	説明
ファイル名	［参照］ボタンをクリックし、付属のソフトウェアCD-ROM内の［indexj.pac］ファイルを選択します。
［更新］ボタン	指定したファイルでホームページ（EpsonNet WebAssist）を更新します。

インストールによって登録される内容

EPSON Server Scan Agent

■［EPSON Server Scan Agent］グループ

①EPSON Server Scan Agentアンインストール
EPSON Server Scan Agentを削除するためのユーティリティです（112 ページ参照）。

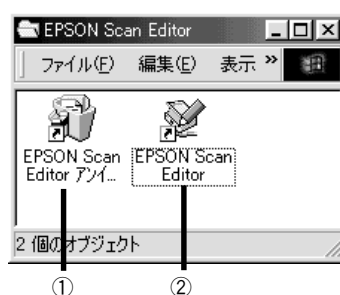
②EPSON Server Scan Agent
EPSON Server Scan Agentです（70 ページ参照）。

■スタートアップ

66 ページ ❹ の右側の画面で はい を選んだ場合は、EPSON Server Scan AgentがWindowsのスタートアップに登録されます。

EPSON Scan Editor

［EPSON Scan Editor］グループが登録され、次のアイコンが登録されます。

①EPSON Scan Editorアンインストール
EPSON Scan Editorを削除するためのユーティリティです（112 ページ参照）。

②EPSON Scan Editor
EPSON Scan Editorです（86ページ参照）。

EpsonNet ScanAssist

［EpsonNet ScanAssist］グループが登録され、［EpsonNet ScanAssist］アイコンが登録されます。

基本仕様

仕様､外観は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

ハードウェア基本仕様

外形寸法	幅 121mm ×奥行 111mm ×高さ 29mm
重量	450g
インターフェイス	ネットワーク　：10BASE-T/100BASE-TX（自動切替）
	コピーユニット：赤外線
	スキャナ　　　：SCSI-2（D-Sub25 ピン）
	SCSI ID：7 固定
	ターミネータ内蔵（ON）
	本製品とスキャナは必ず 1 対 1 で接続し、同一 SCSI バス上に他のSCSI機器を接続（デイジーチェーン）しないこと。
対応スキャナ	ネットワークスキャンの場合は、EPSON ES シリーズのスキャナ。
	サーバスキャンの場合は、コピーユニットが対応している A3 スキャナ。

電気的性能

AC 電源電圧	外部 AC アダプタ
	定格：AC100- 120V（AC ± 10%V ）
AC 電源周波数	定格：50 ～ 60Hz（47 ～ 63Hz ）
AC 消費電力	約 3.0 W
DC 電源電圧	+3.4V（AC アダプタ EU- 37 から供給）
DC 消費電流	0.6A
絶縁抵抗	10M Ω以上（DC500V にて AC ラインとシャーシ間）
絶縁耐圧	AC1.5kV rms 1 分（AC ラインとシャーシ間）

適合規格（耐電磁障害、耐電気ノイズ、環境保護）

耐電磁障害	VCCI クラス B に適合
漏洩電流	0.25mA 以下
電源高調波	高調波抑制対策ガイドラインに適合

耐電気ノイズ

静電気	接触放電 ± 4.5KV（150pF 、330 Ω）
	気中放電 ± 8.5KV（150pF 、330 Ω）

環境条件

温度	動作時：5～35℃
	保存時：－25～60℃
湿度	動作時：10～80%（結露なきこと）
	保存時：10～85%（結露なきこと）

使用条件

塵埃	一般事務所、一般家庭程度
	異常にほこりの多いところは避けること
照度	直射日光があたる場所、光源の近くは避けること

用語解説

英数字

A

API：

Application Program Interfaceの略で、アプリケーションソフトとコンピュータ（OS）の仲立ちをするもの。汎用性のあるAPIを定めることによって、周辺装置のインターフェイスが容易に使えるようになる。TWAINとは、スキャナを制御するためのAPIの規格。

ARP：

Address Resolution Protocolの略で、TCP/IPプロトコル群に属するアドレス解決プロトコルのこと。ホストのIPアドレスからMACアドレスを検索する時に用いる。相手のホストが保持しているIPアドレスとMACアドレスの対応法を変更する場合にも使う。
→ TCP/IP、プロトコル、IPアドレス、MACアドレス

B

bit：

binary digit（2進数）の略。コンピュータが扱うデータの最小単位で、0か1で表す。8bitで0～255の数値を表すことができる。

BOOTP：

BOOTstrap Protocolの略。BOOTPサーバからIPアドレスやホスト名、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイなどの情報を取得する仕組みのこと。
→ IPアドレス、ホスト名、サブネットマスク、ゲートウェイ

D

DHCP：

DHCPはDynamic Host Configuration Protocol（動的ホスト構成プロトコル）の略。クライアントPCの起動時に、DHCPサーバが自動的にIPアドレスとその関連情報を割り当てる仕組み。
→ TCP/IP、クライアント

DNS：

Domain Name Systemの略で、ネットワーク上のドメイン名と、そのIPアドレスとの対応付けを行う仕組みのこと。IPアドレスは4桁の8bit単位での数値のため、人間にとっては覚えにくい。そこで、人間が覚えやすいような名前（ドメイン名）との対応を保存しておき、必要に応じてドメイン名からIPアドレスへの変換を行う。変換を行うサーバをDNSサーバという。
→ IPアドレス、bit

E

Ethernet（イーサネット）：

コンピュータやワークステーションなどで使われるネットワーク方式のこと。もっとも広く普及している方式。
通信速度は10Mbpsまたは100Mbps。ケーブル接続の規格には、10BASE-T、100BASE-TXなどがある。
→ 10BASE/100BASE

H

HUB（ハブ）：

10BASE-T/100BASE-TXのケーブルを束ねるための、ネットワークの接続装置。10BASE-T/100BASE-TXでは、各コンピュータを直接接続するのではなく、ハブを介してスター状に接続するため、クライアントPCの移動や増設の際に、ネットワークを停止する必要がない。
→ 10BASE/100BASE、クライアント

I

IPアドレス：

IPはInternet Protocolの略。TCP/IPプロトコルによるネットワークで使われるアドレス（識別子）で、これによりネットワーク上でコンピュータを特定する。
IPアドレスは数字の羅列（192.168.100.200など）なので、インターネットの世界では、通常は分かりやすい名称（ホスト名）を使用する。
→ TCP/IP、ホスト名

IPアドレスは、外部との接続（インターネットへの接続・電子メールなど）を行う際には、日本ネットワークインフォメーションセンター：JPNIC（http://www.nic.ad.jp/index-j.html）に申請を行って正式に取得していただく必要がありますので、システム管理者にご相談ください。
なお、IPアドレスを使用するにあたって、外部との接続を将来的にも一切行なわないという条件のもとに、下記の範囲のプライベートアドレスを使用できます。（RFC1918で規定されています）
プライベートアドレス：
10.0.0.1 ～ 10.255.255.254
172.16.0.1 ～ 172.31.255.254
192.168.0.1 ～ 192.168.255.254

M

MACアドレス：

Media Access Controlアドレスの略で、ネットワーク機器に組み込まれている機器固有の物理アドレスのこと。

O

Open Transport：

MacOSのネットワーク環境モジュールのこと。Open Transportにより、他の形態のネットワークを利用することができる。

P

PDF：

Portable Document Formatの略。電子形式書類の一種で、Acrobat Readerという無料ソフトによって閲覧できる。

ping：

TCP/IPが実装されたコンピュータ間で送受信テストを行い、接続の確認に使用するコマンド。LAN環境もしくはコンピュータ自体の設定に障害が発生している場合、障害箇所を特定する際に、まずローカル・ホストに対してpingコマンドを実行し、正常にTCP/IPが実装されているか確認する。
→ TCP/IP

R

RARP：

Reverse Address Resolution Protocolの略。RARPサーバからIPアドレスを取得する仕組みのこと。
→ IPアドレス

S

SCSI（スカジー）：

Small Computer System Interfaceの略で、ハードディスク、スキャナなどの周辺機器をコンピュータに接続するためのインターフェイス規格。
ESNSB2とスキャナを接続する場合、他のSCSI機器を接続（デイジーチェーン）することはできない。

SCSI ID：

SCSI機器を区別するために設定する番号のこと。機器間でID番号が重複すると、正常な動作ができなくなる。

ターミネータ（terminator）：

終端抵抗。SCSIなどの接続において、信号が終端で反射し、戻ってくることを回避するために、終端に取り付けて信号電圧を安定させる電気抵抗のこと。

T **TCP/IP：**

TCP/IPはTransmission Control Protocol/Internet Protocolの略。コンピュータ・ネットワーク内の通信で使用される、世界的な標準プロトコルのこと。
→ プロトコル

TWAIN（トウェイン）：

スキャナを制御するソフトウェアのための、アプリケーションインターフェイス（API）の規格。取り込みソフトウェア自体もTWAINと呼ばれる。
EPSON TWAIN xx Networkは、このTWAIN規格に対応しているので、各種TWAIN対応アプリケーションから画像を直接取り込むことができる。
→ API

1 **10BASE/100BASE（テンベース／ヒャクベース）：**

Ethernetの仕様で定められたケーブル接続の規格。10BASEでは、ツイストペアケーブル（より対線）を使う10BASE-Tが主流。
10BASEの機構をそのまま利用し、通信速度を100Mbpsに高めた規格を100BASE-TXという。
→ Ethernet

アイウエオ

カ **解像度（resolution）：**

解像度には、［印刷解像度］と［画像解像度］と［表示解像度］などがある。

印刷解像度：

例えばカラーインクジェットプリンタでは、用紙にインクの粒を吹き付けて印刷（画像を表現）する。このインクの粒が約25.4mm｛1インチ｝幅にいくつあるかを［印刷解像度］といい、単位はdpi（dot per inch）で表す。インクの粒が多いほど、画像はより精細になるが、印刷に時間がかかる。

画像解像度：→ EPSON TWAIN xx NetworkおよびEPSON Scan Editorで設定する解像度

画像データ自体を構成する画素（点）が約25.4mm｛1インチ｝幅にいくつあるかを表すもので、単位は印刷解像度と同じく、dpi（dot per inch）で表す。画素数が多いほど画像はより精細になるが、データ量が多くなるため画像の取り込み／保存／

読み込みなどに時間がかかり、また多くのメモリを必要とする。
取り込む画像の解像度は50〜数千dpiまで設定可能だが、画像をプリンタで印刷する場合、画像解像度（出力機器の設定）をEPSON TWAIN xx Networkの初期設定値以上に設定しても印刷品質は向上しない。

表示解像度：

画像をコンピュータのディスプレイに表示した時に、どのくらいの大きさで表示されるかを表したもので、単位はピクセル（またはドット）。ディスプレイ自体の表示能力を表すときも表示解像度を用いる。

ク

クライアント（Client）：

ネットワーク上でサーバの提供するサービスを受けるコンピュータのこと。クライアントPCともいう。クライアントPCを使用する人を、一般にユーザーという。

ケ

ゲートウェイ：

クライアントのアクセスを代行する代理サーバ。企業では一般に社内LANとインターネットの間にゲートウェイ・サーバを設置し、社内LANからはゲートウェイ・サーバ経由でインターネットへアクセスする。異なるプロトコルのシステムやネットワークを相互に接続する。中継機能専用のコンピュータはルータと呼び、ゲートウェイとは区別する。
→ プロトコル

サ

サーバ（Sever）：

ネットワーク上でクライアントPCにさまざまなサービスを提供するコンピュータのこと。
サーバを管理する人を、ネットワーク管理者またはシステム管理者などという。

サブネットマスク：

TCP/IPネットワークでは、同じネットワーク部を持ったコンピュータ同士が通信できる。従ってネットワーク部とホスト部とを区別する必要があり、その際に使用されるのがサブネットマスク。サブネットマスクはIPアドレス同様に32bitからなり、クラスCでは24bit（255.255.255.0）が標準で使用される。
→ TCP/IP、IPアドレス、bit

セ

セグメント：

ネットワークの単位。各種接続機器を使ってセグメントを中継することで、ネットワークの規模が拡大される。

ネ

ネットワーク（Network）：

データなどを伝送する通信網のこと。広域のネットワークをWAN（Wide Area Network）といい、同一建物内などのネットワークをLAN（Local Area Network）という。

ネットワーク管理者：

サーバ（ネットワーク）を管理する人のこと。システム管理者などともいう。
→ サーバ

フ

プロトコル（Protocol）：

異なったシステム間、ソフトウェア間で情報通信を行う場合に必要とされる、通信上のルール/約束事/規約のこと。接続の開始/終了から電子メールの形式まで、さまざまな規約を定めている。語源は外交儀礼。

ホ

ホスト名（Host name）：

インターネットに接続されたコンピュータを特定する名称のこと。インターネットでは、インターネット上のコンピュータに識別子（IPアドレス）を付けることでコンピュータを特定し、通信するが、IPアドレスは数字の羅列（192.168.100.200など）のため、通常は分かりやすいホスト名（http://www.i-love-epson.co.jpなど）を用いる。なお、ホスト名を使用するには、DNSサービスが必要。
→ IPアドレス

メ

メモリ（memory）：

データを一時的に保存する部分。例えば、ソフトウェア自体はハードディスクに保存されているが、起動するとメモリに読み込まれ、ここでさまざまな処理が行われる。ハードディスクは保存領域、メモリは作業領域といえる。
画像取り込みにもメモリを使用するため、メモリの容量が少ないと、データが収まらずにエラーが発生することがある。

ル

ルータ：

ゲートウェイを参照。

索引

英数字

アイウエオ

電波障害自主規制について　ー注意ー

この装置は、情報処理装置等電波自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCIルールの限界値を越えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。(社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人 日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんので、ご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

複製上のご注意

以下の行為は、法律により禁止されています。
・紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること
（見本印があっても不可）
・日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
・政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、官製はがきなどを複製すること
・政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。
・民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
・パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

著作権について
書籍、絵画、版画、図面、写真などの他人の著作物は、個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とする以外、著作権者の承認が必要です。

EPSON

●エプソン販売のホームページ「I Love EPSON」http://www.i-love-epson.co.jp

各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

インターネット FAQ エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.i-love-epson.co.jp/faq/

●エプソンサービスコールセンター

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

0570ー004141（全国ナビダイヤル） 【受付時間】9:00～17:30 月～金曜日（祝日・弊社指定休日を除く）

*ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ㈱の電話サービスの名称です。
*携帯電話・PHS端末・CATVからはご利用いただけませんので、（042）582-6888までお電話ください。
*新電電各社をご利用の場合、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。

●修理品送付・持ち込み・ドア toドアサービス依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	ドア toドアサービス受付電話	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス㈱	同 右	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス㈱	0263-86-9995 ドア to ドア専用 受付電話 365日受付可	0263-86-7660
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス㈱		042-584-8070
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス㈱	同 右	092-622-8922
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス㈱	同 右	098-852-1420

*「ドア toドアサービス」は修理品の引き上げからお届けまで、ご指定の場所に伺う有償サービスです。お問い合わせ・お申込は、上記修理センターへご連絡ください。
*予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。
【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
*修理について詳しくは、ホームページアドレスhttp://www.epson-service.co.jpでご確認ください。

●エプソンインフォメーションセンター　製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

札幌（011）222ー7931 仙台（022）214ー7624 東京（042）585ー8555 名古屋（052）202ー9531 大阪（06）6399ー1115
広島（082）240ー0430 福岡（092）452ー3942 【受付時間】月～金曜日9:00～20:00 土曜日10:00～17:00（祝日を除く）

●購入ガイドインフォメーション　製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

（042）585-8444【受付時間】月～金曜日 9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

●FAXインフォメーション　EPSON製品の最新情報をFAXにてお知らせします。

札幌（011）221ー7911 東京（042）585ー8500 名古屋（052）202ー9532 大阪（06）6397ー4359 福岡（092）452ー3305

●スクール（エプソンデジタルカレッジ）講習会のご案内

東京 TEL（03）5321-9738 大阪 TEL（06）6205-2734
【受付時間】月曜日～金曜日9:30～12:00/13:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
*スケジュールはホームページにて、ご確認ください。

●ショールーム　*詳細はホームページでもご確認いただけます。

エプソンスクエア新宿　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
エプソンスクエア御堂筋　〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！	http://myepson.i-love-epson.co.jp/

▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●エプソンディスクサービス

各種ドライバの最新バージョンを郵送でお届け致します。お申込方法・料金など、詳しくは上記FAXインフォメーションの資料でご確認ください。

●消耗品のご購入

お近くのEPSON商品取扱店及びエプソンOAサプライ株式会社 フリーダイヤル0120ー251528 でお買い求めください。

エプソン販売 株式会社　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階
セイコーエプソン株式会社　〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

2002. 2. 28（B）

Co-Existence 共生 EPSON

この取扱説明書は70％再生紙（表紙は35％）を使用しています。

Printed in Japan 02.XX-XX

Rev.	日付	ページ	改訂内容
02	2002.11.15	表紙	バージョン UP、住所組変更
02	2002.11.15	裏表紙	漏洩電流の注意書き削除
02	2002.11.15	9	ページ数更新
02	2002.11.15	12	1 点画面変更
02	2002.11.15	17	（CS-6800）削除
02	2002.11.15	18	1 点画面変更
02	2002.11.15	20	（CS-6800）削除、NetWare 6J 追加
02	2002.11.15	34	記述追加
02	2002.11.15	48	（CS-6800）削除
02	2002.11.15	56	（CS-6800）削除
02	2002.11.15	57	NetWare 6J 追加等、OS 等の新バージョン追記
02	2002.11.15	59	NetWare バージョン変更
02	2002.11.15	63	ページ数更新
02	2002.11.15	64	1 点画面変更
02	2002.11.15	76	1 点画面変更
02	2002.11.15	83	1 点画面変更
02	2002.11.15	87	記述変更、追加
02	2002.11.15	89	注釈追加（表下）
02	2002.11.15	90	記述追加（ADF からの複数枚連続で取り込む場合）
02	2002.11.15	95	1 点画面変更
02	2002.11.15	97	参照ページ更新
02	2002.11.15	98	記述追加
02	2002.11.15	100	ポイント記述変更
02	2002.11.15	101	記述追加
02	2002.11.15	107	記述追加、漏洩電流記述一部削除
02	2002.11.15	110	参照ページ更新、ADF に関する記述削除・追加
02	2002.11.15	119	ポイント記述追加
02	2002.11.15	124	IP アドレス記述追加

02	2002.11.15	138,139	索引更新